

本ガイドラインは今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況や  
明らかになる情報により、随時変更の可能性がございます



# 新型コロナウイルス対策ガイドライン

## 第5稿 (2020.09.01現在)

<p><b>sleep well</b> よく寝る</p>	<p><b>wash your hands frequently</b> ひんぱんに手を洗う</p>	<p><b>maintain social distancing</b></p> <p><b>2m</b> 距離を取る</p>	
<p><b>exercise</b> 運動する</p>	<p><b>cover your nose and mouth</b> 咳のしぶきを飛ばさない</p> <p>マスク着用する    ティッシュでかくす    袖でかくす</p> <p>mask    tissue    barriers</p>	<p><b>stay home when you're sick</b> かぜ気味なら休む</p>	<p><b>eat well</b> よく食べる</p>
<p><b>use your non-dominant hand</b> 利き手で「あちこち」さわらない</p>	<p><b>don't touch your face</b> 目鼻口をさわらない</p>	<p><b>All we have to do to prevent infection is simple</b> <b>感染予防のために、できること。</b></p> <p>The new Coronavirus <b>COVID-19 新型コロナウイルス</b></p> <p><b>V.LEAGUE</b> WE NEVER DROP THE BALL</p>	

監修：英特蘭司（キングス・カレッジ・ロンドン）、林 浩樹（電通総合研究所）、藤本美（国立国際医療研究センター）、久住英二（ナビスタクリニック）、原案：藤原美志（BowGraphics Inc.）、デザイン・イラスト：©V.LEAGUE

# はじめに

新型コロナウイルス感染症に罹災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、全国の医療従事者の方々に感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大状況は現在も刻々と変化しており、先行きが不透明な状況が続いております。そのような中で、Vリーグ機構では10月に開幕する今シーズンのVリーグにつきましては、政府の方針、並びに関係自治体の方針にも従いながら、現時点では3つの方針を掲げて準備を行っていくことを決定し、2020年7月1日に発表致しました。

- 【方針①】 入場者50%の制限を設けることを前提に開幕に向けた準備を進める。  
(※入場者の制限比率については政府の方針に従う。)
- 【方針②】 新型コロナウイルスの感染拡大によりリモートマッチでしか開催ができなくなる状況でも、可能な限り大会開催を優先する。
- 【方針③】 会場に来たくても来ることのできないお客様が放映や配信などを通じて、Vリーグ観戦を行うことのできる環境の整備を行う。

このような状況下で開催を行うにあたっては、十分な感染拡大防止策を講じた上で運営を行っていく必要がございます。Vリーグ機構では、新型コロナウイルス対策規程と新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定を行いました。

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの影響下でVリーグの全ての関係者、ファンの皆さまが安心・安全で大会に参加・ご来場いただけるようVリーグ機構としての対策指針を示したものです。

大会関係者におかれましては、大会運営上、必ずしも本ガイドラインの通りの運営を行うことが困難なケースが出てくるかと思えます。その際には、「なぜ、このような対応が必要か」という部分をご理解いただいた上で、代替の方法がとれるのであれば、その代替の方法をとっていただくことも可能ですし、運用の中でホームチームの責任下でガイドラインとは異なる方法を取らざるを得ないケースがあることも理解をしております。そのような場合でも、Vリーグの全ての関係者、ファンの皆さまの安心・安全を第一に考えていただき、ご対応いただくようお願い致します。

ご存じの通り新型コロナウイルスの感染拡大状況は刻々と変化して参ります。このガイドラインについても、状況に応じてフレキシブルに変更していく必要があると考えております。常に更新される最新のガイドラインをご確認いただき、感染拡大防止を行った上での大会開催にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

# 目次

1	新型コロナウイルスの基本的な情報	4
	① 新型コロナウイルス感染症の感染経路	
	② 新型コロナウイルスの感染を促進する要因	
	③ 感染のリスクが高まる環境・状況	
	④ 一般的な予防法	
2	Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針	8
	① 基本方針	
	② 用語の定義	
	③ 大会の開催方針	
3	Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策	13
	① チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策	
	② Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策	
	③ 非感染検査の受診について	
	④ 感染の疑いが出た際の対応	
	⑤ 感染者が出た際の対応	
	⑥ 情報の共有・発表について	
4	入場者制限付きの開催について	25
	① 入場制限付き開催の考え方	
	② チケット販売の考え方	
	③ アリーナのゾーニングの考え方	
	④ 会場運営について	
	⑤ チーム及び派遣役員について	
	⑥ 競技について	
	⑦ ファン・チームサポーターへの対応	
	⑧ 報道関係者・中継スタッフ等の対応	
	⑨ 試合会場の設営及び撤去	
5	リモートマッチについて	49
	① リモートマッチの考え方	
	② アリーナのゾーニング	
	③ 会場運営	
	④ チーム及び役員派遣（JURY・Vレフェリー）について	
	⑤ 競技について	
	⑥ アリーナ外のファン・サポーターの集結を防ぐ	
	⑦ 報道関係者・中継制作等の対応	
	⑧ 試合会場の設営及び撤去	
6	別紙資料・参考資料	

# 1.新型コロナウイルスの基本的な情報

# 1. 新型コロナウイルスの基本的な情報

本ガイドラインは一般社団法人日本バレーボールリーグ機構が定款3条の[目的]に則して事業を行うために、Vリーグ機構に関わる者全てが新型コロナウイルス感染とその拡大を防止するために行うべきガイドラインとして作成します。

作成にあたっては、既に公表されている『日本野球機構・日本プロサッカーリーグ連絡会議 専門家チーム・地域アドバイザー』が、2020年3月12日に日本野球機構及び日本プロサッカーリーグに対して行った提言書を一部、加筆修正して作成しました。しかし、新型コロナウイルスを取り巻く状況は日々刻々と変化しており、Vリーグ機構に関わる者は、本ガイドラインと最新の情報を常に取り入れ、柔軟性を持って感染拡大対策に努めなければならない。

## 1 新型コロナウイルス感染症の感染経路

新型コロナウイルスの感染は以下の2つの経路で生じることが知られています。

### (1) 飛沫感染（咳やくしゃみ、おしゃべりによる感染）

通常風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスが排出され、それを吸入することにより感染が生じます。特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要です。

### (2) 接触感染（手で触れることによる感染）

咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスが、手指などを介して粘膜（口、鼻、眼など）から侵入することにより感染が成立します。咳やくしゃみ、おしゃべりで排出されたウイルスは、条件次第では、環境中で数日にわたって生き続けます。

### (3) 参考資料

- 厚生労働省：「新型コロナウイルス感染症について」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

- 山中伸弥氏（京都大学iPS細胞研究所）：山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信

<https://www.covid19-yamanaka.com/cont1/main.html>

# 1. 新型コロナウイルスの基本的な情報

## 2 新型コロナウイルスの感染を促進する要因

新型コロナウイルスの感染伝播が起こりやすい原因として次の3要因が重要となります。

### (1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触（手が届く範囲での交流）

濃厚接触の明確な定義はありませんが、通常、“手の届く範囲での交流”ということで理解されています。立食パーティーや対面での面談・食事なども濃厚接触になり、多数の人が多く集まる環境において感染のリスクが高まります。ただし、数分間、あるいはすれ違い程度の交流は、通常は濃厚接触とはなりません。



### (2) 近距離での咳・くしゃみ、おしゃべり、発声

咳やくしゃみに加えて、濃厚接触状態における“おしゃべりや発声”でも感染が広がる可能性が指摘されています。この点は、インフルエンザなどとは異なる特徴です。



### (3) 換気の悪い密閉空間

咳やくしゃみ、おしゃべりなどにより排出された大きな粒子（しぶき）はすぐに地面に落ちますが、小さな粒子は短時間の間、空気中を浮遊することが考えられます。空気がよどみやすい空間、閉鎖された環境では、その粒子を吸い込んで感染する危険が高まります。



# 1. 新型コロナウイルスの基本的な情報

## 3 感染のリスクが高まる環境・状況

これまでに感染伝播が報告された代表的な環境・状況として以下があります。いずれも上記の3要因のいずれか、あるいは複数が関連しています。それ以外にも上記の3要因が重なる環境・状況では感染のリスクが高まると考えておかなければなりません。

ライブハウス/屋形船/長距離バス・タクシー/スポーツジム/展示会/接待を伴う飲食店

上記に加えて、不特定多数の方が参加・観客となる環境：Vリーグを行うアリーナなど  
マスコガザリングでは屋内・屋外で感染症のリスクが高まると考えられます。

## 4 一般的な予防法

以下の対応を取ることが新型コロナウイルス感染症の伝播を防ぐ上での基本になります。

### (1) 人ごみを避ける

不特定多数の人が集まる場所（特に換気の悪い場所）、体が触れ合う状況において感染のリスクが高まります。

### (2) 手洗いの励行

人が触れるものは全てウイルスで汚染されていると考えて対応する必要があります。

### (3) 口・鼻・目に不用意に触れない

手についたウイルスが粘膜を通して感染を起こします。

### (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事

感染対策、全ての健康の基本となります。



---

## 2.Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の 基本方針



## 2. Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

### 1 基本方針

Vリーグ機構に関わる全ての関係者（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ）は本ガイドライン及び基本方針を理解し、Vリーグ大会に関わるすべての関係者に共有することが重要となります。

- ① 政府の指針に従い感染拡大防止に協力する
- ② Vリーグ機構事業の目的の実現は、国民の健康のもとに成り立つことを再認識し、Vリーグ機構に関わるすべての関係者は感染拡大防止に努める
- ③ チーム関係者は常に感染防止と自己管理に努め、自身に関わる全てのチーム関係者の管理も行う。Vリーグ機構役員、大会関係スタッフについては、当該担当者が所属する関係各社が管理を行う。
- ④ 発症・感染拡大の原因となった場合には、自身だけでなくチームメートの出場機会を奪うだけでなく、大会そのものの中止にまで発展する恐れがあります。その場合、開催地バレーボール協会やホームチーム、大会関係者、そして試合を楽しみに足を運んでくださるファンの皆さまにまで多大なるご迷惑をおかけするということを認識する必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策は、個人防衛、集団防衛、社会防衛の3つの見地から考える必要があります。何よりも重要なのは、チーム関係者及び大会関係スタッフが、発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと、お客様も観戦にあたっては発熱・咳・倦怠感などの症状を認めた場合にはアリーナに行かないという文化を醸成することです。

バレーボールという競技はボールを手を使って繋ぐスポーツです。バレーボールを介して感染が広がるというケースも考えられます。このようなバレーボール競技と新型コロナウイルスの特性を十分に理解し、バレーボールに関わる全ての人々が感染拡大対策に努めることが重要となります。

日本バレーボールリーグ機構は、“選手・コーチ・監督・スタッフを守る、観客を守る、選手・コーチ・監督・スタッフ、観客が感染クラスターになることを防ぐ、日本のスポーツ文化を守る”という視点から、新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応を考えていくことが重要であると考えています。

## 2. Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

### 2 用語の定義

本ガイドラインでは下記の通り用語を定義する。

一斉中止	開催地域、カテゴリーに関わらず、当該期間に開催するすべてのVリーグ主催大会を中止することをいう。
限定的中止	特定のカテゴリーや特定の開催地域に限定してVリーグ機構主催大会を中止することをいう。
リモートマッチ	一般入場者の入場を禁止して、Vリーグ機構主催大会を開催することをいう。尚、報道関係者については入場を認める。
チーム関係者	選手、監督、コーチ、マネージャー、トレーナーなどチームスタッフに加えその家族など選手・スタッフと日常生活に於いて、濃厚接触する可能性のある方をいう。
Vリーグ機構役員	Vリーグ機構理事・監事、事務局職員、派遣役員（JURY、Vレフェリー、オフィシャルカメラマンほか）とその家族のことをいう。
大会関係スタッフ	大会役員、外部協力社のうちVリーグ大会に関わるスタッフのことをいう。
濃厚接触	必要な感染予防策をせずに患者（確定例）に接触すること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m程度）で15分以上接触があった場合や、患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者をいう。
クラスター	当面の間、接触歴が明らかとなる5名以上の新型コロナウイルス感染者が発生した場合をいう。
発症日	最初に症状（発熱、咳、だるさ、味覚異常、嗅覚異常）が観察された日のことをいう

## 2. Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

### 3 大会の開催方針

(1) 新型コロナウイルスの影響を考慮した段階的開催方針  
Vリーグ機構では新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせて、大会開催方針として4つのフェーズを設定しました。

Phase	内容
Phase 1	入場制限を行わずに興行を行うことができる状況
Phase 2	客席の密を避けるために集客率50%（仮）を上限とした入場制限を設けて興行を行う状況
Phase 3	リモートマッチでしか興行を行えない状況
Phase 4	大会を中止とせざるを得ない状況

(2) 2020-21シーズンの開催方針  
2020-21V.LEAGUEは「Phase2」で開幕することを前提に、開幕に向けた準備を進めて参ります。尚、入場者数の削減方針については政府の方針に従って決定します。また、Phase2においては政府方針により十分な感染拡大対策を行う必要があります。

大会開催方針については、刻々と変化する新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて次の指針に基づいて決定していきます。

- ① 政府及び自治体の方針  
緊急事態宣言の発令の有無、特定警戒区域発令の有無、  
都道府県をまだぐ移動の可否 など
- ② 大会開催地域及びチームホームタウンの自治体の状況
- ③ チーム関係者の状況
- ④ 他のスポーツの状況

本ガイドライン発行後、もしくは、開幕後に新型コロナウイルスが終息し、政府見解含めて感染拡大のリスクが無いことが確認された際には速やか、Phase 1に移行し、本ガイドラインで規制した事項についても、その一部を解除します。

しかし、新型コロナウイルス感染が拡大した場合には、Phase3に移行し全会場一斉にリモートマッチでの開催を余技なくされるケースや②や③の状況により限定的にリモートマッチの開催や限定的中止を決定する場合があります。（別途定める新型コロナウイルス対策規程参照）

# 【参考】イベント開催制限の目安（政府方針）

## イベント開催制限の段階的緩和の目安（その1）

資料6-1

- 「新しい生活様式」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等避けるなど、基本的な感染防止策の徹底・継続。イベント主催者や出演者は「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- 感染拡大の兆候やイベント等でのクラスターの発生があった場合、イベントの無観客化や延期、中止等も含めて、国と連携しながら、都道府県知事が速やかに協力を要請。その際、専門家によるクラスターの発生原因やそれへの有効な対策等に関する分析を出来る限り活用（業種別ガイドラインの改定にも活用）。緊急事態宣言が出た場合、対策を強化。
- 今後、感染状況等に変化がみられる場合、段階的解除の目安の変更や必要な対策等を通知。

### <基本的な考え方>

時期		収容率	人数上限
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	200人
ステップ② 6月19日～ *ステップ①から約3週間後	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	1000人
ステップ③ 7月10日～ *ステップ②から約3週間後	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	5000人
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日を目途 *ステップ③から約3週間後	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な間隔 *できれば2m	上限なし

(注) 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度（両方の条件を満たす必要）。

## イベント開催制限の段階的緩和の目安（その2）

- イベント主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意。イベント参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることに留意。また、発熱等の症状がある者はイベントに参加しない（無症状で感染させる可能性も）。

### <具体的な当てはめ>

時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等 (全国的移動を伴うもの)	お祭り・野外フェス等	
				全国的・広域的	地域の行事
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	○ 【100人又は50% <sup>(注)</sup> (屋外200人)】 *密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、音楽鑑にも注意	○ 【100人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	×	全国的・広域的	△ 【100人又は50% (屋外200人)】 *特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
ステップ② 6月19日～ *ステップ①から約3週間後	○ 【1000人又は50%】 *密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応、音楽鑑にも注意	○ 【1000人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応	○ 【無観客】(ネット中継等) *無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理	×	
ステップ③ 7月10日～ *ステップ②から約3週間後	○ 【5000人又は50%】 *密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)	○ 【5000人又は50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)	○ 【5000人又は50%】 *感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 *GoToキャンペーンによる支援(7月下旬～)		○ *特定の地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日 を目途 *ステップ③から約3週間後	○ 【50%】 *密閉空間で大声を発するもの等は、厳格なガイドラインによる対応 *GoToキャンペーンによる支援	○ 【50%】 *入場制限等により、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応 *GoToキャンペーンによる支援	○ 【50%】 *感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手・観客等の行動管理 *GoToキャンペーンによる支援	△ 【十分な間隔】 (できれば2m) *感染状況を踏まえて、判断。	

(注) どちらか小さい方を限度。他の場合も同様。

### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる 感染予防策

# 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

## 1 チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策

### （1）新型コロナ対策責任者の任命

選手及びチーム関係者特有の新型コロナウイルス感染リスク要因として以下の事項があげられます

- ・人ごみの中でのファンサービス
- ・過酷なトレーニングと緊張
- ・食事、体重、スケジュールなどの管理
- ・集団での移動（飛行機、バスなど）

チーム関係者の皆さまは一般の方以上に新型コロナウイルスへの感染リスクがあることを自覚いただき、感染防止に努めてください。

各チームはチーム内での新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、新型コロナウイルス対策責任者（1名=以下、対策責任者と表記）を任命してください。対策責任者はチームドクターやトレーナーと連携して、チーム内の感染拡大予防に努めてください。対策責任者の名前はリーグに届け出てください。

### （2）医療機関との日常的なコミュニケーション

チームはチーム関係者に不測の事態の際の相談窓口となっただけだけでなく、日常的に医療機関とのコミュニケーションを図っていただき、新型コロナウイルスの疑いが出た際に適切な助言や相談ができる環境を予め整えておいてください。

### （3）健康状態のモニタリングと感染拡大予防

#### ① 毎日の健康チェックと行動記録

対策責任者はVリーグ登録選手及びスタッフの毎日の健康チェックと行動記録を必ず実施してください。行動記録のモニタリングは、万が一、チーム内で感染者・濃厚接触者が発生した際にどの範囲で隔離を行うかの判断を行う上で重要な資料となります。必ず実施してください。（健康チェックシートは別紙資料を参照ください）

体温測定	起床直後・就寝前など決まった時間での体温測定
問診表チェック	発熱・咳・咽頭痛・だるさ・倦怠感・食欲低下・味覚障害・嗅覚障害の有無
行動記録	買い物・食事・トレーニング等に出向いた場所・同行者などの記録

#### ② 手指衛生の励行

消毒用アルコール剤による手指衛生の励行が原則です。ただし、アルコールにより指先のケガなどの状態に影響が大きいと判断される場合には、流水と石鹸による手洗いでも十分な予防効果が期待できます（手指消毒、手洗いの方法は対策責任者が指導していただくようお願いいたします）。

#### ③ 出来るだけ人ごみを避ける

可能な限り人混みを避け、外出の際にはマスク着用を必須としてください。



### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

#### (4) チーム練習場・クラブハウス・寮などでの感染予防策

対策責任者は医療機関の指示のもとトレーナーやドクターとも連携し、練習場、クラブハウス、アリーナなど、チーム関係者が主に使用する施設の感染拡大予防に努めてください。

##### ① 施設の空調・換気状態の把握と可能な対策

- アリーナや諸室の空調・換気の状態の把握と給気能力の増強や加湿
  - ・ 空気のおよみを最小限とするよう換気・空調システムの見直し
- 窓を開けるなど定期的な空気の入替

##### ② 手指消毒液の設置

- 練習場の入口及び諸室へ設置する。
- クラブハウス、寮などの共有スペース及びトイレ等への設置

##### ③ ロッカー室・シャワー室、ベンチ・トイレなどでの濃厚接触の回避

- ロッカー室・シャワー室等の使用は時間差利用、可能な限り1.5～2m以上のヒト-ヒト間隔がとれるよう配慮するなどの空間遮断などを行った上で使用する
- 感染リスクを下げるため、チームを守るために、ポジションが同じ選手が可能な限り行動を共にしないなどの工夫は有効となる可能性がある
  - ・ 高頻度接触面に対して次亜塩素酸ナトリウム等を用いて環境消毒を行う
  - ・ タオルなどのリネンの共用は避ける。トイレなどの手ふきはペーパータオルを使用する
  - ・ チーム専用トイレ個室に便座クリーナーまたはアルコール消毒スプレーを配備。利用者には毎回の使用を呼びかける

##### ④ 練習前後のミーティング

- WEBミーティングで行い、対面での実施を避けることを推奨する
- 対面で実施する場合は、短時間で実施。屋外や換気のいい場所で行い、社会的距離をとる

##### ⑤ 選手の治療およびマッサージ

- トレーナーはマスク・手袋・手指消毒など予防策をとった上で対応する
- 外傷に伴う処置を行う場合も同様

##### ⑥ ジムの使用

- 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する
- 器具は使用のたびに消毒する
- 身体接触を伴う、または対面での補助は行わない

##### ⑦ ボール等用具の消毒

ボール等、用具を介した感染の可能性があるので、使用した用具は全て消毒を行ってください。



### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

#### ⑧ 取材対応

リーグ開幕前から入場者制限付き開催の期間に、チーム練習場等の試合会場以外で報道関係者による取材を認める場合、下記の対応を行って下さい。テレビ局等の報道関係者が指定した場所で取材が行われる場合は、報道関係者と調整し対応を行っていただくよう努めて下さい。

- 入館時には手指の消毒を行い、常時マスクを着用する。
- 選手・チームスタッフと、報道関係者の動線を分ける。
- オンライン取材を推奨、または取材場所をアリーナ等の広い場所に限定し、常に社会的距離（2m、最低でも1m）をとる。
- 取材者とその家族・同居者が、直近14日間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚や嗅覚の異常）を起こしていないことについての宣誓と、緊急時の連絡先を記載した書面を提出いただく。
- 選手との接触前に体温を測定し、37.5度以上の場合は退去していただく。

### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

#### (5) チームの移動及び宿泊

遠征時のチームの移動及び宿泊については、各チームの事情を勘案し、チームに対応をお任せすることになりますが、可能な限り以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

##### ① 航空機及び新幹線での移動

航空機も新幹線も定期的に空気が入れ替わる仕組みとなっており、換気のよい空間になります。但し、指定席予約の際には座席指定サービスを利用の上、可能な限り密集を防ぐことが可能な座席の予約をお願いします。

##### <参考>

全日本空輸株式会社 ANA care Promise

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/coronavirus-travel-information/>

JR東海「新型コロナウイルス感染症に対する取り組み」

[https://jr-central.co.jp/notice/detail/\\_pdf/000040501.pdf](https://jr-central.co.jp/notice/detail/_pdf/000040501.pdf)

##### ② バスによる長距離移動

###### a) バス会社への事前の依頼事項

- 事前の車内消毒
- 運転手の体調管理、マスク及び手袋の着用

###### b) その他の注意事項

- 特にバス移動が長距離に渡る場合、複数台のバスでの移動などもご検討ください。  
(バス内の人数を減らすため)
- バス内ではマスクを着用
- サービスエリアでの休憩時もマスクを着用し、感染予防を行ってください

##### ③ 遠征時の宿泊について

宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫してください

###### a) 宿泊施設での注意事項

- フロア単位での貸し切りを検討してください
- チーム専用の入口、動線、エレベーターを確保できないか、検討してください。
- 食事会場はチーム専用を検討してください
- チームが使用する部屋は事前に消毒・換気することを施設側に依頼してください。
- チームが訪れる各所に消毒液の設置を依頼してください
  - ・ 食事会場
  - ・ マッサージルーム
  - ・ ミーティングルーム
  - ・ 廊下
- 自室以外ではマスクを着用してください
- エレベーターのスイッチや階段の手すりに、素手で触れないようにしてください

### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

- ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バーなどに立ち入らないようにしてください
- 部屋割りとは原則、一人一部屋とし、部屋間の往来を禁止してください。
- 部屋の換気をよくしてください
  
- b) マッサージルームでの注意事項
  - 室内では混雑させないように留意してください。また、換気をよくしてください
  - 順番が来るまで室内に立ち入らないようにしてください。
  - マスク・手袋等を用いて、感染予防をしてください。
  - トレーナーはマスク、手袋、手指消毒などの予防策をとって対応してください。
  
- c) 食事会場
  - 施主の席は1.5m～2mの距離をあけてください。向かい合わせの配席は不可です。
    - ・十分に広い部屋が無い場合は、グループ分けを行い食事時間をずらしてください
  - 食事は一人ずつ取り分けた状態で準備してください
    - ・食事中、宿泊施設の方は部屋にいないようにします。片付けはチームが退出した後に行います。
  - ビュッフェ形式の場合は、個人専用のトングを用い、大皿に唾液が飛ぶような会話を行わないよう、チーム全員で留意してください。
  
- d) ミーティングルームの利用
  - 可能な限りWEB会議形式にて行ってください。
  - 対面で実施する場合は、部屋の換気に留意してください。監督、コーチ選手が1.5～2mの距離をとって着席してください。

## 2 Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策

Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフに求められる感染予防策はチーム関係者に求められる感染予防策と同様です。特に、Vリーグ機構役員及び大会関係スタッフの方々は、それぞれ、職場も異なることから高い意識を持って、自己防衛していただくことが求められます。また、日常的によく接する方、特にご家族の方には皆さんと同様の感染予防策を講じていただくことが重要となります。

# 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

## 3 非感染検査の受診について

Vリーグ機構登録スタッフ・選手及びVリーグ機構理事・監事、事務局職員、派遣役員（JURY、Vレフェリー）には2020-21シーズン開幕前及び開幕後、定期的にVリーグ機構が指定する方法にて非感染検査を受診していただき、陰性が確認された方のみ、Vリーグ大会に参加いただけます。

非感染検査の実施頻度及び実施方法については別途ご連絡致します。

大会運営スタッフの非感染検査の実施については、受診いただくことを推奨しますが必須とはいたしません（大会運営スタッフの方の受診費用については、各所属先でご負担いただくようお願いいたします）。

## 4 感染の疑いが出た際の対応

新型コロナウイルスへの感染及び濃厚接触が疑われる場合は、当該発症者は検査結果が出るまでは感染拡大防止のために、チーム及び所属組織から離脱し（遠征中の場合は即時帰宅）、自宅待機することを原則とします。但し、遠距離の遠征先の場合、保健所や医療機関とも相談の上、場合によっては現地にて対応してください。

- (1) 発症前に他人を感染させる可能性  
新型コロナウイルスは潜伏期間（発症の2～3日前）から他人に感染させる可能性があることが知られています。  
その期間に濃厚接触のあった方は、隔離の対象となります。
- (2) 感染して発症するまでの潜伏期間  
感染してから発症するまでの潜伏期間は1日～14日（平均5日）です。感染源を探す際、14日間の行動（対人接触）をさかのぼってモニターすることになります。
- (3) 発症後、症状が持続せず、新型コロナウイルスに感染していないと推定される場合  
発症日から7日間の隔離後、かつ解熱および症状消失後に3日間経過後、平常復帰することが推奨されます。

### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(4) 感染の疑いのある症状が出た際の相談

- ① 感染の疑いのある症状が出た際の相談・受診・検査の流れは厚生労働省の案内をご参照ください。

<参考>

厚生労働省「症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について」

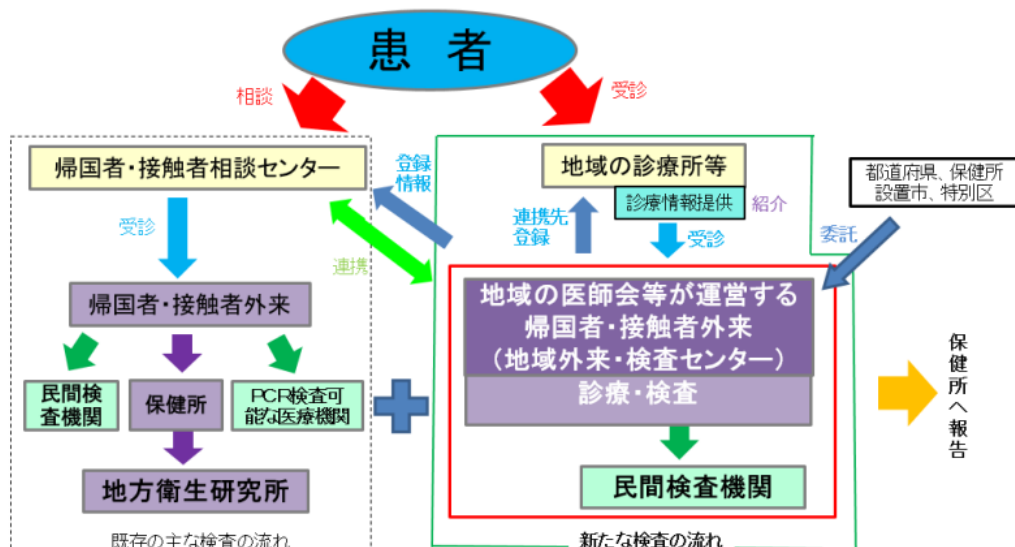
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html)

- ② 帰国者・接触者相談センターへの相談の目安として、少なくとも以下の条件に当てはまる方はすぐに相談してください。
- ・ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
  - ・ 重症化しやすい方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合。  
※ 高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、慢性閉そく性肺疾患など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方
  - ・ 上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤など飲み続けなければならない方も同様です。）
- ③ 発症から検査までの流れ
- ・ 発症から検査までの流れは厚生労働省ホームページを参照ください
  - ・ 各都道府県が公表している、帰国者・接触者相談センターのページもあわせてご確認ください。

<参考>

厚生労働省「新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html)



### 3. Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(5) 疑いのある症状が出た際のチームの対応

- ① 本人、または、家族・同居者に疑い症状が出ている場合、または、濃厚接触が疑われる場合は次の措置をとってください。
  - ・ 自主隔離し、チームドクター・保健所・医療機関と相談の上、診療や検査を実施してください。
  - ・ Vリーグ機構事務局への報告をお願いします。
- ② 自主隔離からの復帰
  - ・ 2週間、症状なく過ごした場合はそのままチームに復帰して問題ありません。
  - ・ 疑い症状が数日で収まった（解熱等）の場合は、数日間の経過観察の後にチームドクター、保健所・医療機関に相談の上、チームのへの復帰時期を相談してください。

#### 5 感染者が出た際の対応(新型コロナウイルス対策規程第10条)

① チーム関係者から発生した際の対応

チーム関係者に新型コロナウイルス陽性者が発生した場合は、陽性反応だった本人は保健所及び医療機関の指示に従い入院もしくは自宅待機を行ってください。陽性反応者と濃厚接触者は自宅待機するなど、その他のチーム関係者と隔離し保健所及び医療機関の指示に従ってください。

② その他のチーム関係者の対応

その他の選手及びチーム関係者は陽性反応者との濃厚接触の有無に関わらず、ただちに非感染検査を受診してください。非感染検査の結果が出るまで、チーム活動を中止してください。非感染検査の結果に基づき、陰性が確認できた者だけでチーム活動を再開してください。尚、この検査の受診は当該チーム負担となります。

③ クラスターが発生した際の対応

チーム関係者から新型コロナウイルス陽性者のクラスターの発生が確認された場合はただちにチーム活動を中止し、大会への参加も中止してください。クラスターが発生した場合には、保健所及び医療機関にも相談の上、厚生労働省クラスター対策班に連絡を入れ、その指示に従ってください。また、クラスターが発生していない場合でも、チーム関係者に複数の新型コロナウイルス陽性者が発生した場合に、母体企業の指示もしくはチームの判断によりチーム活動を中止することを認めます。

④ チーム内でクラスターが発生した際のチーム活動再開の条件

③の場合において、チーム活動を中止したチームがチーム活動を再開するための条件は、Vリーグ機構登録選手・スタッフのうち、新型コロナウイルス罹患全員の非感染検査陰性と残りのメンバー全員の非感染検査の陰性が確認された後、医療機関からチーム活動再開についての了解が確認された時とします。

⑤ チーム活動を中止したチームの大会への復帰

チーム活動を中止したチームの大会への復帰は、最短でチーム活動を再開した時点から翌週の大会からの参加とします。但し、大会への復帰時期は当該チームとVリーグ機構が協議の上、理事会が決定することとします。



## 6 情報の共有・発表について

### (1) 情報開示にあたって

#### ① 感染症法が要請する情報開示

新型コロナウイルスは感染症法に定める指定感染症です。

#### ② 都道府県による情報開示

- 都道府県は感染症の予防や治療に必要な情報として、感染発生情報などを積極的に公表することが求められています。(感染症法第16条)
- その際、感染症に関連してかつて患者やその家族等に対するいわれのない差別や偏見が存在した教訓から、個人の人権が損なわれることの無いよう、情報保護等には十分な留意が必要です。(感染症法前文、4条、16条)
- 「病歴」は、個人情報の中でも極めてプライバシーがより保護されるべき情報です。
- 都道府県は概ね以下のような項目を発表しています。
  - ・ 年代、性別、職業、居住地、経過・症状、行動歴、濃厚接触者の状況、渡航歴  
(発表内容は都道府県によって異なります)

#### ③ 個人名の公開について

- 個人名は原則非公開としますが、感染者本人に公開の意思がある場合、これを尊重する(公開してもよい)が、その場合も、家族・関係者などがいわれのない扱いを受けたりするなど、多大な影響が及ぶ可能性なども十分考慮した上で、慎重に判断してください。
- 匿名での発表でも十分に社会的責任を果たすことはできます。
- 保健所による積極的疫学調査に全面的かつ速やかに協力できるよう、行動記録や施設の見取り図などを速やかに提供できるよう、準備をお願いします。
- また、日ごろから健康管理、感染リスク管理を行っていることが前提となります。速やかに提供できるよう準備をお願いします。
- 従業員から感染者が出た企業に対して、保健所が公表を指示することはありません。また、企業が自主的に公表する場合は、個人情報や人権に十分配慮し、保健所と連携することが求められます。

#### ④ 情報共有と発表について(「新型コロナウイルス対策規程」に準ずる)

<Vリーグチーム登録選手・スタッフに感染者・感染疑い者(濃厚接触者)が発生した際の方針>

- 速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は2週間以内の濃厚接触の有無を確認するために関係者に事実の報告を行う。(但し、その情報は機密情報として取り扱い第三者には公表しない。)
- 公表の有無は当該チームが判断を行う。その場合でも、氏名は原則、非公表とする。

<Vリーグ機構役員・大会関係スタッフに感染者・感染疑い者(濃厚接触者)が発生した際の方針>

- 速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は2週間以内の濃厚接触の有無を確認するために関係者に事実の報告を行う。(但し、その情報は機密情報として取り扱い第三者には公表しない。)
- 公表は原則、行わない。



# Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

## <試合観戦者から発生した際の方針>

- 保健所から連絡を受けたVリーグチームは速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は濃厚接触の有無を確認するために「どの試合のどの座席で発生したか」の情報を関係者に報告を行う。
- 個人情報保護の観点からお客様の陽性者情報の一般公表は行わない。但し、濃厚接触者を特定するために保健所の要請に応じて、保健所に対する積極的な情報提供（席種及び濃厚接触疑い者の個人情報など）を行う。
- クラスターの疑いもしくはクラスターが発生した場合には、Vリーグ機構及びホームチームはその事実を公表する。但し、その場合は個人情報特定されることの無いよう、十分に配慮の上、公表を行う。

## 【参考（観戦者の中から新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応フロー）】

- ① お客様の中から感染者が出たとわかるのは、試合から2～10日目後と想定されます。保健所は国立感染症研究所の指示に従って情報収集します。
- ② その方は保健所から、発症日（検査結果判明日でなく）の前後の行動を尋ねられ、「Vリーグに行きました」と答えると、保健所からチームに連絡が入ります。
- ③ チームは、その方と濃厚接触した方を特定するために、どの席にいたのか、誰が近くにいたか、人ごみはできていなかったかなど、保健所からヒアリングを受けることになります。
- ④ チームは保健所にお客様の個人情報を提供することになります。（※VリーグはVチケの情報提供等のサポートは行います）
- ⑤ 保健所から濃厚接触者の方に連絡が入る流れになります。（※保健所の対応によってはチームから同大会日にいた濃厚接触者に連絡を行う可能性あり）

## (2) 感染に関する発表の例（参考：Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン）

本日、（チーム名）所属の選手（20代）が、新型コロナウイルス感染症のPCR検査で陽性判定を受けましたので、下記にお知らせいたします。

- ・ 2020年9月25日にPCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス陽性と確認されました。
- ・ 本人には微熱はあるものの大事には至っておらず、隔離の上、体調回復に努めております。また、チーム内にかぜ症状などを示している者はありません。
- ・ ただいま保健所と協力して、濃厚接触者のリストアップを行っております。発症日（9月20日）の2日前から接触が対象と伺い、9月18日、19日の練習に参加した全員を、10月2日まで自宅隔離しました。引き続き、9月18日以降の行動記録について保健所に提出して参ります。
- ・ 保健所によりますと、9月18日以前の接触は、濃厚接触にあたらなないとのことです。また、濃厚接触者の家族・同居人で発熱などの症状の無いものは、普通に行動してもよいと伺いました。しかし、念のため、当チームより濃厚接触者の家族・同居人にも自主隔離をお願いしております。
- ・ チーム事務局、練習体育館は昨日より閉鎖しております。保健所の指導のもと消毒を行ったのち、再開させて参ります。
- ・ 当チームは日頃より、感染拡大防止に取り組んでおりましたが、今後いっそう引き締めて安全確保に努めてまいります。

# Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

## 【発症日2日前からの行動】

9月18日（金）	練習参加。体温36.5度。午後から夜は家族と過ごす
9月19日（土）	練習参加。体温36.5度。午後から夜は家族と過ごす
9月20日（日）	練習参加。夕方、発熱、38.2度、倦怠感あり【発症】
9月21日（月）	自主隔離開始。体温、38.7度、味覚異常あり
9月22日（火）	医療機関である●●病院を受診、経過観察
9月23日（水）	体温38.5度
9月24日（木）	帰国者・接触者センターに相談し帰国者・接触者外来を受診。 PCR検査を受診
9月25日（金）	PCR検査の陽性判定、入院治療

なお、Vリーグはプライバシー及び人権保護の観点から、個人名の公開は原則として差し控えております。但し、当該者の意思は尊重します。他方、感染拡大の防止については、保健所に対し必要な情報を迅速にご提供するなど最大限、努力して参ります。どうぞ、ご理解賜りますよう、宜しくお願い致します。

## (3) 発表内容チェックシート（参考：Vリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン）

属性	チームとの関係及び立場
経過・症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症日、初期症状（発熱/咳/倦怠感/味覚嗅覚障害/咽頭痛/胸痛など）</li> <li>・医療機関に受診した場合は順に「医療機関A」「医療機関B」とする※匿名可</li> <li>・医療機関初見（肺炎初見の有無など）</li> <li>・PCR検査受診日・陽性判定日</li> <li>・現在の容態</li> <li>・現在の隔離状況（入院・自宅隔離など）</li> </ul>
行動履歴	発症日2日前～発表日までの行動履歴（練習参加等）
感染経路	判明している事項
関係者の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム関係者に症状のあるものの有無</li> <li>・濃厚接触者・疑い者の取扱い</li> <li>・チームの活動状況など</li> </ul>
保健所・自治体との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設消毒の実施状況</li> <li>・濃厚接触者の調査状況</li> </ul>
今後について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとしての感染拡大への取り組み</li> <li>・活動停止スケジュールなど</li> </ul>

## 4. 入場者制限付き開催について

## 4. 入場者制限付き開催について

### 1 入場者制限付き開催の考え方

2020-21シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から政府方針に従い、入場者数は会場収容客数の50%(席種ごとに50%)を上限として開催致します。この入場者数の上限は今後の感染拡大状況や政府方針に従い、変更する可能性があることを念頭に置いて開催の準備をお願いします。

また、各ホームチームは、この考え方で開催する旨を予めホームタウン自治体ならびに開催地の自治体に了解を得ていただく様をお願いします。

### 2 チケット販売の考え方

各ホームゲームでチケット販売及び席割を検討するにあたり、次の事項を念頭に検討する必要があります。

- 【1】 会場への入退場時及び座席に於いて「密集」「密接」「密閉」を作り出さない
- 【2】 新型コロナウイルスの影響により入場者制限の方針が変更になることがある
- 【3】 万が一お客様の中に新型コロナウイルス罹患者が発生した際に感染経路を特定する必要がある

この考え方から、席割及びチケット販売については下記の必須事項を守り、推奨事項を参考に計画いただくようお願いします。

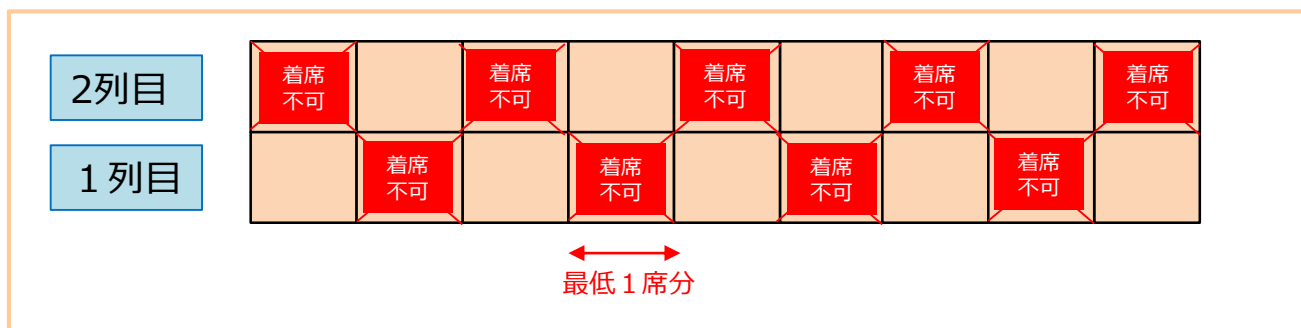
No.	項目	備考
【必須事項】		
①	客席同士の間隔を最低1席分空ける	上記【1】、次々頁参照。但し、お客様の個人情報と着席位置を把握することを前提に家族席等隣合わせの席を設定することは可。その場合でも、50%制限の観点から設定席数と同じ数の空席を設定すること。
②	着席不可の席には席にその旨を記載する	上記【1】、次頁参照
③	自由席を設けない。チームサポーター席も全て指定席とする	上記【1】【3】、待機列解消
④	チケットは1興行ごとに販売する	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
⑤	シーズンチケットは販売しない	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
⑥	入場者の座席位置と個人情報の把握	上記【3】

## 4. 入場者制限付き開催について

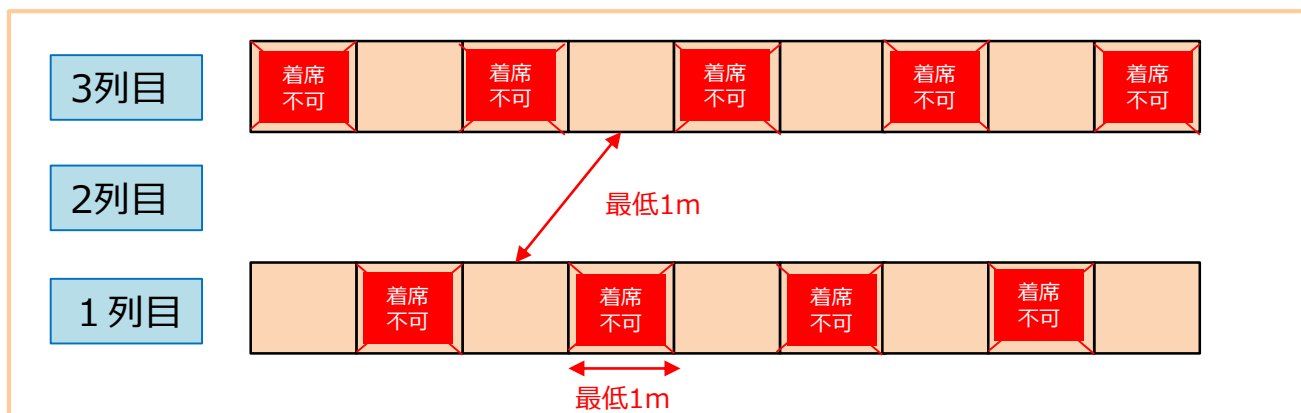
No.	項目	備考
【必須事項】		
⑦	全席種Vチケもしくはプレイガイドでの販売	上記【3】。但し、スポンサー向けや関係者向けなど「顔の見えるお客様」に対して、お客様の個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス）を把握することを前提に手売りすることは可とするが、どの席に誰が座っているかをホームチームが把握し管理することを条件とする。 ※Vチケ及びぴあで販売している場合は、【3】の際はVリーグ機構でもサポートができるが他のプレイガイドや手売りの場合、Vリーグ機構が介入できないため、チームで責任をもって行ってください。
⑧	チケットの販売は1人あたり1枚しか購入できない設定で販売する	上記【3】。家族席等を販売する場合はその限りではないが、お客様全員の個人情報を取得できるよう、販売方法はプレイガイドと相談する
【推奨事項】		
⑨	客席同士の間隔を最低1メートル空ける	上記【1】、次頁参照。但し、お客様の個人情報と着席位置を把握することを前提に家族席等隣合わせの席を設定することは可。その場合でも、50%制限の観点から設定席数と同じ数の空席を設定すること。
⑩	席種ごとに入場可能時間を変更すること	上記【1】、待機列の解消
⑪	アリーナベンチ裏席は販売しない	上記【1】、ゾーニングの確保、P.37参照
⑫	当日券の販売は行わない	上記【1】、【3】。もし販売する場合は、プレイガイド（スマホ発券）のみでの販売とするか、会場で販売を行う場合は感染症拡大対策を行った上での販売とするとともに、販売の際にはお客様の座席と個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス）を把握することを条件とする。
⑬	チケットの販売開始は開催日の1～2週間前からの販売とする	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
⑭	全席種Vチケでの販売とし、チケットの引き取り方法も「アプリで引き取り」に限定する。（紙チケットでの引き取りは不可にする）	上記【3】、チケット握り時の接触の回避、コロナウイルス罹患発生時に事務局との連携を図るため（他プレイガイドで販売していると情報の探索等に苦慮するため）

## 4. 入場者制限付き開催について

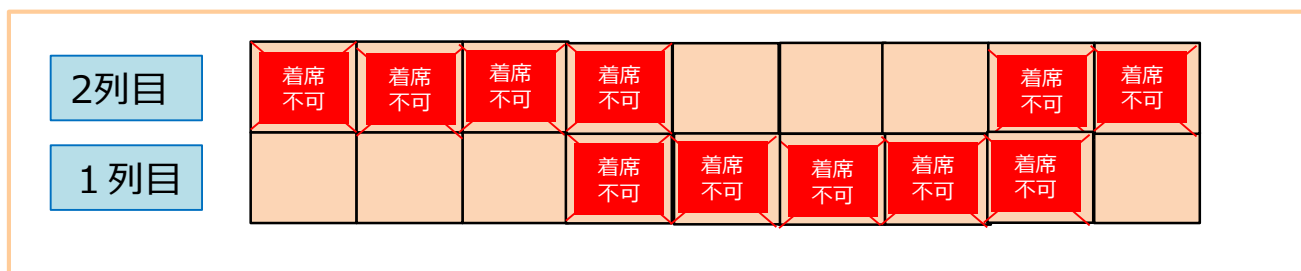
【必須で設定すべき席割（参考）】



【推奨の席割（参考）】



【ファミリー席等のグループ席を設定する際の席割（参考）】



## 4. 入場者制限付き開催について

### 3 アリーナのゾーニングの考え方

#### (1) 会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

#### ゾーン1：競技関連

- ・ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ・ 選手入場口
- ・ 選手及びJURY、審判員の控室

#### ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ・ 運営スタッフ控室
- ・ プレスルーム
- ・ プレス席

#### ゾーン3：お客様エリア

- ・ 客席
- ・ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただき、「ゾーン1」で必要な業務については非感染検査を受診しているスタッフを中心に実施していただくようお願いいたします。

非感染検査を受診していないスタッフが「ゾーン1」で活動する場合はマスク・手袋の着用を必須とし、その他の感染拡大防止対策を実施の上、「ゾーン1」で活動いただくようお願いいたします。

(マスクや手袋の着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります。)

#### (2) 来場者の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ及び招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。

- ① 全員の来場時刻及び退場時刻を記録しておいてください
- ② 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておいてください



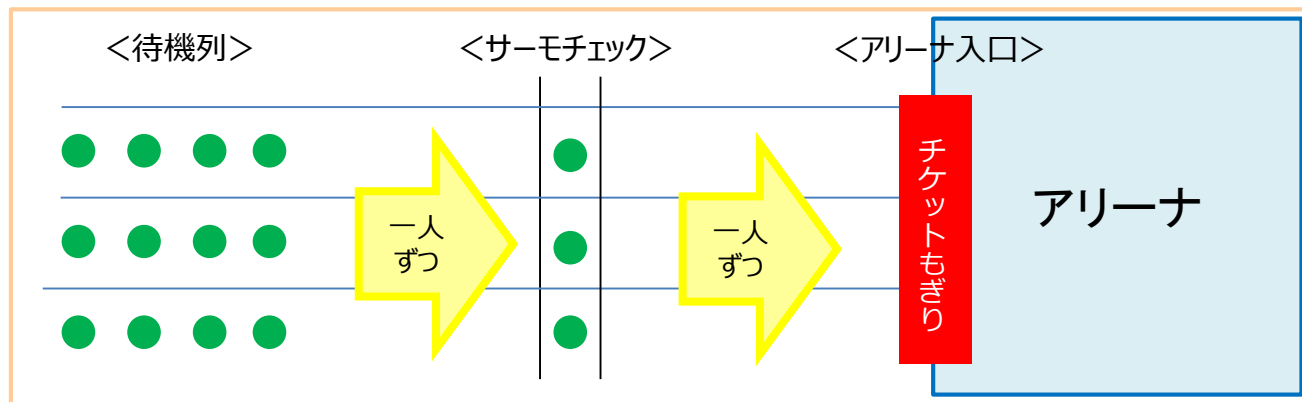
# 4. 入場者制限付き開催について

## 4 会場運営について

- (1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会関係スタッフ）に求められること
- ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
  - ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
    - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
    - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
  - ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないください
  - ④ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する
  - ⑤ マスクを着用する
  - ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。
- (2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割
- ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。
- (3) アリーナの衛生管理
- ① 使用する全ての諸室に消毒液を設置してください。
  - ② トイレには、手をふくための使い捨てペーパータオルを用意してください。また、手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意してください。
  - ③ チーム到着前に、チームが使用を予定する全ての箇所を消毒してください。
  - ④ アリーナ内でVリーグ関係者で占有できないエリア（Vリーグ関係以外の方の往来がある箇所）については、施設管理者と共同の上、こまめに消毒を行っていただくようお願いします。
  - ⑤ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間にはこまめにドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いします。
- (4) アリーナへの入退場の管理（ファン・観戦者）
- ① 待機列が密にならないように工夫する  
（待機列を形成する場合は1mのソーシャルディスタンスを確保する）
  - ② 入場時に体温を測定し、37.5度以上の場合入場をお断りしてください。
    - a) Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります  
（1会場3~4台を予定）
    - b) チケット握ぎりの前にサーモメーター検温スペースを設置してください。
    - c) サーモメーターによるスクリーニングにより37.5度以上の体温が検知されたお客様には、接触体温計により再度、体温チェックを行ってください。
    - d) 接触体温計でも37.5度以上の体温が検知された場合、入場をお断りしてください。
      - ・ その場合でも、原則、チケット料金の払い戻しは行わない。
      - ・ 入場をお断りした方の連絡先を把握しておく
    - e) お客様のマスクの着用は必須として、必要に応じてマスクを配布してください。

## 4. 入場者制限付き開催について

【体温チェック（参考）】



- f) 手荷物検査は、お客様に荷物をあけてもらい、お客様の荷物には触れないでください
- g) チケットもぎりは、スタッフは券面チェックのみを行い、お客様自身にチケットをもぎってもらう。(Vアプリチケットレスサービスご利用のお客様にはスタッフが対応する)
- h) お客様への配布物は、不特定多数の方が触れないように管理し、定期的に手指を消毒したスタッフが配布してください。
- i) 会場入口を対応するスタッフは全て、マスク、手袋、フェイスガードの着用を必須としてください。
- j) チケットもぎりを行った後にお客様の手指に消毒液を噴射し、必ず入口での消毒を行った後に入場していただいでください。

### (5) アリーナへの入退場の管理（大会関係者・プレスほか）

- ① 入場時に体温を測定し、37.5度以上の場合入場をお断りしてください。
  - ※ Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります（1会場3~4台を予定）
  - ※ 検温の方法はファン・観戦者への対応と同じです。
- ② 来場者名簿を利用して、来場時刻と退場時刻を管理してください。
- ③ 来場者全員の健康管理チェックシートの提出を求めてください。
- ④ 全ての入口に消毒液を設置してください。

### (6) 場内/場外における食品の販売とお客様の持ち込みについて

- ① 食品の販売及びお客様の食事の持ち込みの可否は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。
- ② 食事の販売を行う場合、お客様の持ち込みを認める場合は次の事項に留意してください。
  - a) 食事の販売もしくは、お客様の持ち込みを認める場合は、アリーナ内もしくはアリーナ外にイートインスペースを設置することを推奨します。
  - b) イートインスペースの設置においては、対面での食事を避け十分な広さのスペースでお客様がソーシャルディスタンスを確保できるよう配慮してください。また、可能な限り換気のいい場所にスペースを設置いただくようご配慮のほど、宜しくお願い致します。

## 4. 入場者制限付き開催について

- c) スタンドでの飲食については、アリーナ管理者の方針に従いその可否を決定してください。(アリーナ側が認めるのであれば、スタンドでの食事も可とするが、向かい合って飲食をすることや、周りのお客様に飛沫等が飛ぶことが無いよう、注意喚起をお願いします。)
- d) 感染拡大防止の観点から食事後のゴミは全てお客様自身でお持ち帰りいただくことを推奨するが、そのことにより、アリーナ近隣のゴミ箱が使用されてしまうなど、近隣の施設にご迷惑をおかけしてしまうことも想定されることから、アリーナ管理者と十分相談の上、決定してください。

- ② 飲食販売及びグッズの販売についても感染拡大防止策を講じた上で実施していただいて結構です。
- ③ 販売員は必ず、マスク、手袋、フェイスガードを着用してください。

### (7) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催するVリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用すること、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 試合会場に関わらず、控室、プレスルーム、トイレなど全ての部屋の換気を定期的に行う実施していただくよう、お願いします。
  - ※ 厚生労働省によると①窓による換気は1時間に2回以上、数分間の換気を行うこと
  - ②空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は二方向の壁の窓を開放することが推奨されています。

### <参考>

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000618969.pdf#search=%27%E6%8F%9B%E6%B0%97+%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%27>

### (8) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。(設置にあたってはソーシャルディスタンスに配慮してください)

### (9) Vリーグ機構会場持ち込み演出ツールについて

- ① Vリーグ機構持ち込みの演出ツールについては、複数会場を持ち回り使用する物品となります。については、使用前と使用後に必ず消毒を行ってください。
- ② 2020-21シーズンは、従来、Vリーグ機構が持ち回りを行っていた、下記の物品の持ち回りを中止させていただきます。
  - a) Vリーグロゴ入り装飾用横断幕 (片面/両面)
  - b) Vリーグロゴ入りのぼり

## 4. 入場者制限付き開催について

### c) 投げ込み用マスコットボール

※ 装飾用横断幕の持ち込み中止は持ち回りによる感染リスクに配慮したものです。しかし、横断幕の持ち回りを中止したことにより、会場の「見た目」が殺風景になってしまうことは避けたいと考えております。そこで、貸与を希望するチームには、横断幕とのぼりの貸出をさせていただきます。貸出中はチームの責任下で管理と使用時の消毒をお願いします。貸出を希望するチームは、Vリーグ機構事務局までご相談いただきますよう、宜しくお願い致します。

### d) 大型LEDビジョン（V1のみ）

※ V1チームは手めくり得点版を2基ご準備いただきますようお願いいたします。

### e) タラフレックス・カラーコート の敷設（V1のみ）

### f) 諸室表示（デザインは関係者サイトにてアップロード）

### （10）応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）の責任管理下でチームが持ち込み、掲示を行う幕・旗のみ掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカルスポンサーのバナーを掲示することも可）。掲示の際には感染拡大防止の観点から消毒を行うことと、一般のお客様に旗・幕に触れないよう啓発をお願いします。

また、一般のファンの方が会場に旗や幕を持ち込んで、掲示・掲出を行うことは禁止と致します。

### （11）イベントについて

- ① イベントを開催する場合はソーシャルディスタンスに十分配慮してください。
- ② イベント実施において、飛沫拡散を防止するために演者やお客様の発声を誘発するようなイベントを一切禁止致します。
- ③ チアリーダーの応援について
  - ・ チアリーダーのフロア演技はフロア上に選手やスタッフがいない状態で、声を発しないで行うことを前提に実施することが許容されます。
  - ・ チアリーダーの客席及びスタンドでの応援はお客様から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。
- ④ マスコットの来場及び起用について
  - ・ マスコットのフロアでのパフォーマンスはフロア上に選手やスタッフがいない状態で、前提に実施することが許容されます。
  - ・ お客様の密集を防ぐために、マスコットによる入口でのグリーティングやゾーン3（お客様エリア）にマスコットが行くこと的一切を禁止致します。
- ⑤ その他、感染拡大防止の観点から次頁のイベントについては禁止とさせていただきます。

## 4. 入場者制限付き開催について

今シーズンに限り実施を中止する応援スタイル及びイベント	備考
チアスティックの持ち込み及び応援	
声を出しての応援や声だしを先導するような応援やイベント	
指笛による応援	
ハイタッチや肩を組んでの応援	
タオルマフラーや大旗を振り回してのイベント	
試合前後のエール交換	
ビッグフラッグを用いた応援	掲示のみであれば可
ファンと選手が直接接触するファンサービス	
スタンドへの投げ込みプレゼント	試合前のマスコットボール 試合後のサイン入り試合球 試合後のブイリーほか
選手からお客様への直接のプレゼント	
お客様から選手への直接のプレゼント	
キッズエスコートなどキッズと選手が直接触れ合うイベント	

※上記については、今後、追加・変更の可能性があります

### (12) 選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン2（大会運営スタッフ&プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン3（お客様エリア）への立ち入りは一切行わないでください。
- ② お客様に対しては感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして幅3メートル以上の動線を作りお客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、ソーシャルディスタンスを確保してください。

## 4. 入場者制限付き開催について

### (13) 会場で使用する机・椅子の消毒について

- ① 会場で使用する机・椅子については、使用前に必ず消毒を行ってください。
- ② チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行ってください。特に1日2試合開催・3試合開催の際には、試合間でベンチの消毒を行っていただく様をお願いします。

### (14) お客様の座席の消毒について

- ① お客様の座席についても開場前に必ず消毒を行ってください。
- ② 1日2試合開催・3試合開催の際には、チームサポーター席など入替を行う席は試合間で客席の消毒を行っていただくようお願いします。

## 5 チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

### (1) アリーナへの移動

#### ① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ・ マスクを着用する
- ・ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ・ 車内の換気に留意する。1時間に複数回の換気を行う

#### ② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車での移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

### (2) 試合当日の体温測定

#### ① チーム関係者、派遣役員ともに試合当日の体温測定は必ず実施してください。

#### ② 37.5度以上の発熱があった場合は、次の通りに処置してください。

- ・ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
- ・ ホームチームの対策責任者及びJURYに報告する
- ・ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健士に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
- ・ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。



## 4. 入場者制限付き開催について

### (3) チーム及び派遣役員全員に求められること

- ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ④ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する
- ⑤ マスクを着用する
- ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

### (4) 更衣室

- ① 更衣室もソーシャルディスタンスを確保してください。
  - ・更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

### (5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手袋・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具も必ず消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合も同様の対応をとってください。

### (6) 体調管理チェックシートの提出について

- ① 会場に来場する全てのチーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフは試合日・設営日に関わらず受付にて体調管理チェックシートの提出をお願いします。
- ② 新型コロナウイルス対策責任者は、全ての関係者の体調管理チェックシートの提出が行われているか、体調に問題無いかの確認をお願いします。  
(対策責任者1人で全ての確認を行うことは不可能ですので、対策責任者の責任下でスタッフの方と分担していただき、実施をお願い致します。)
- ③ 体調管理チェックシートについては、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、Vリーグ機構への送付をお願いします。



# 4. 入場者制限付き開催について

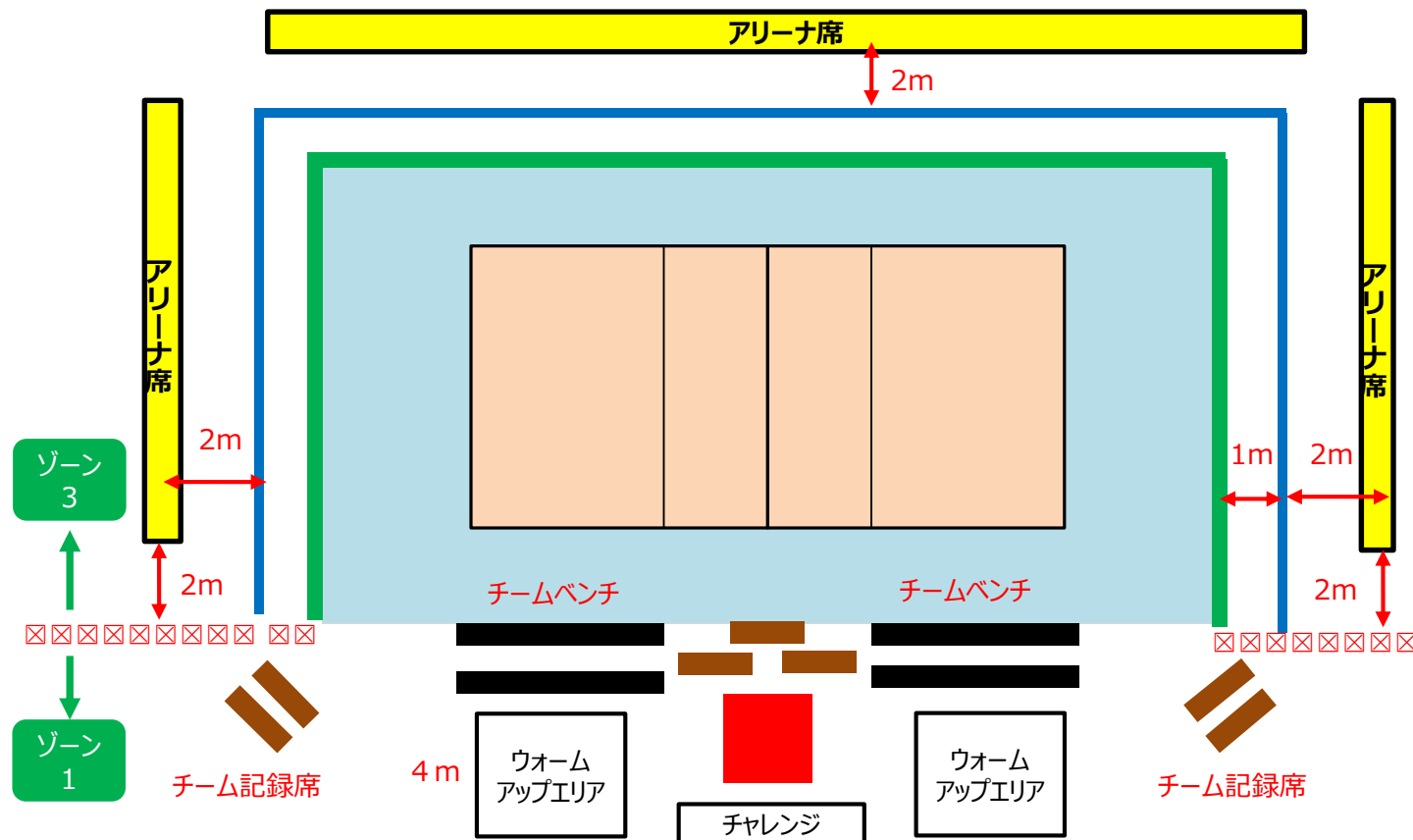
## 6 競技について

### (1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

#### 【原則事項】

競技エリアのレイアウトは下図を原則とします。但し、会場の広さや要件によって下記のレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーン区分の考え方は遵守してください。

- ① チームベンチはソーシャルディスタンスが確保できるよう、1席分を空けて座ってください。
- ② ベンチは2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ③ ウォームアップエリアについてはベンチ後方に設置し、ソーシャルディスタンス確保の観点から、4m×4mの広さを確保してください。（正方形での確保ができなければ16㎡以上の確保をお願いします）
- ④ 主審側及び両側エンドにアリーナ席を設置することは可としますが、カメラマンエリアから2m以上離れた上で設置していただくようお願いします。
- ⑤ ゾーニング確保の観点からチャレンジテーブルはJURYテーブル後方に配置する。
- ⑥ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。但し、監督が立ち上がってコート内の選手に指示を送る場合はマスクを外してよい。
- ⑦ ベンチ内、ウォームアップエリア内では不要な会話・接触を避けてください。



※副審側席の販売は2階席以上であればOK。1階席を販売する場合は次頁参照

## 4. 入場者制限付き開催について

### 【推奨事項】

- ① 各エリアの拡大とチームとゾーニングの確保とチーム関係者を感染拡大から守るとの観点から、副審側1階アリーナ席（ベンチ裏）の販売は行わないことを推奨します。  
販売する場合は、下図ゾーン1の後方に設置することとし、競技エリア（ゾーン1）お客様エリア（ゾーン3）のゾーン及び動線の区分ができていないことを条件とします。

### （2）競技用具及び競技備品の消毒

- ① 競技用具及び会場備品については、JVAが定める『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』に基づいて小まめな消毒を行ってください。

JVA『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/79b7bbac51a149d1679022abc7929d49.pdf>

- ② Vリーグ機構持ち込み物品については、複数会場を持ち回り使用する物品となります。については、Vリーグ機構持ち込み物品は使用前と使用後に必ず消毒を行ってください。

### （3）競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2020-21V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなくなった場合は、下記の対応を行い試合開催を優先する。

- ① 急遽、JURYが不在となった場合

JURY不在で試合を行う。但し、JURY不在の場合はチームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。

- ② 急遽、Vレフェリーが不在となった場合

当該JURYがVリーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。

- ③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1チャレンジ採用時のみ）

当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

- ④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合

ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

- ⑤ 急遽、JVIMS担当者が不在となった場合

a) 3名しか配置できないケース  
ブロック判定補助員の配置を削減する。

## 4. 入場者制限付き開催について

### b) 2名しか配置できないケース

ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。

### c) 1名しか配置できないケース

判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

### d) 1人も配置できないケース

会場でのJVIMS対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

### （4）クイックモップーについて

感染拡大防止と人員削減の観点から、今シーズンは、クイックモップーは配置しません。フロアモッピングについては、コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。

ただし、試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウエットスポットが発生した場合には、主・副審の判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。

また、タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用してのワイピングを認めます。

### （5）サブコートでの練習

- ① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 換気に留意してください

### （6）メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスク着用を必須としません。

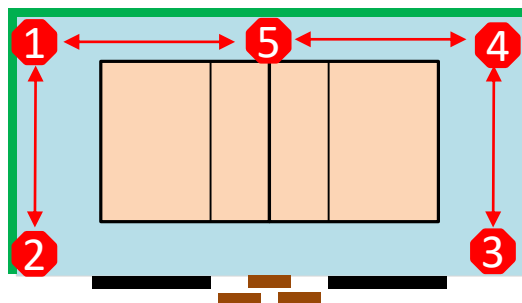
### （7）ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置してください。各開催地の状況や人員削減の観点から6名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

- ① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。（ボールの受け渡し：↔）

### a) 5名配置できる場合

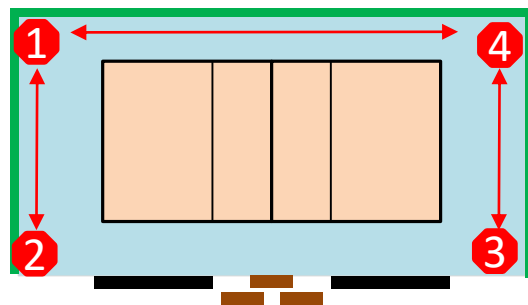
- 1) 5ボールで運用してください



## 4. 入場者制限付き開催について

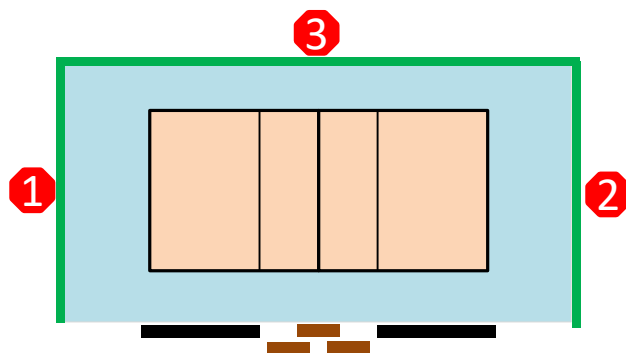
### b) 4名配置できる場合

- 1) 5ボールもしくは3ボールで運用してください。
- 2) ①⇔④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



### c) 3名（もしくは2名）配置できる場合（2名の場合は、①と②の場所に配置）

- 1) 3ボールで運用してください
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求めることができる



### d) ボールリトリバーを1名配置できる場合もしくは不在の場合

- 1) ワンボールで運用してください
- 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください
- 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してください
- 4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。

- ② 試合中、ボールリトリバー（及びボールを扱う可能性のある役員）は、必ず手袋を着用してください。マスクの着用は必須としませんが可能な限りマスク着用を推奨します。
- ③ ボールを拭く際には消毒液付きのタオル等で拭くようにしてください。

### （8）選手入場から試合開始まで

- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2020-21V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。
  - ・ 入場時はソーシャルディスタンスを十分配慮する
  - ・ キッズエスコートは行わない
  - ・ 選手とお客様が直接接触するイベントは行わない
  - ・ 投げ込み等のプレゼントは行わない

## 4. 入場者制限付き開催について

- ・ 始球式については認められるが、感染拡大防止策を十分に行った上で実施する
  - ・ アリーナ上で円陣を組むことは行わない
  - ・ チームの集合写真の撮影は認められるが、選手間、カメラマン間のソーシャルディスタンスには十分配慮すること
- ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください
- ・ 選手同士の握手は行わない
  - ・ 選手とレフェリーの握手は行わない
  - ・ コイントスは主副審立会にのものと両チームのキャプテンにより実施する。但し、ソーシャルディスタンスを保つことを心掛ける

### (9) 競技中の注意事項

- ① 試合中、選手はJVAが定める『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』の「6)競技中の注意事項」に記載されている内容を遵守してください。
- ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくとも唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
- ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等をクーラーボックス等に戻すことは絶対に避けてください。
- ④ 得点時のパフォーマンスは可能な限りソーシャルディスタンスを保って実施してください。

### (10) タイムアウト、TTO、セット間の対応

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線及びモッパーの動線が混雑しないよう、予め配慮してください
- ② コートの補修は通常通り行ってください。
- ③ コート上でのチアパフォーマンスについてはフロア上に選手やスタッフがいない状態で、声を発しないで行うことを前提に実施することが許容されます。
- ④ セット間にボールの消毒を行ってください。

### (11) 試合終了時のセレモニー

- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
- ② チームサポーター席への挨拶については、ソーシャルディスタンスを確保することに留意してください。また、選手間でのハイタッチや、抱擁、握手は行わないでください。
- ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。
- ④ 勝利者インタビューの方法については検討中。

### (12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

### (13) アナリスト席について

アナリスト席はコートエンド 2 階席の片側に設置してください。（アナリスト席までの移動は極力、お客様の動線は避けて移動していただくようお願い致します。また、アナリスト席エリアでの不要な移動や出入りを極力制限していただくようお願い致します。）

## 4. 入場者制限付き開催について

### 7 ファン・チームサポーターへの対応

(1) ファン・チームサポーターへの事前案内  
会場に来場予定のファンの皆さま、チームサポーターの皆さまには事前に次の点についてご案内をお願いします。

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力を  
お願いします。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航  
または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 入場時にお客様の体温を測定させていただき、37.5度以上ある場合は入場できませんので、予めご  
了承ください。
- ③ 上記の場合でも、チケットの払い戻し等の対応は致しかねますので予めご了承ください。
- ④ アリーナでのマスクの配布はございませんので、各自ご準備ください。
- ⑤ アリーナではソーシャルディスタンスを確保するようにしてください。
- ⑥ 手洗い・消毒などをこまめに実施してください。アリーナ内設置の消毒液をご利用ください。
- ⑦ 観戦時は座席から移動することを禁止します。
- ⑧ アリーナ外でもソーシャルディスタンスはもとより、大声での発声、歌唱や声援、密集の形成など、  
観戦リスクのある行為は控えてください。
- ⑨ 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご使用ください

(2) 応援スタイルについて  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ファン・チームサポーターの皆さまのご理解とご協力を  
【容認される行為と禁止される行為】

容認する行為	禁止する行為
拍手（発声を誘発しない範囲で）	声を出しての応援
	歌を歌うなどの応援、指笛
	チアスティックを用いての応援
	タオルマフラー・大団旗などを振るもしくは回す
	トラメガ、メガホンの使用
	ハイタッチ、肩を組んでの応援
	ビッグフラッグ（但し、掲出のみであればOK）
	選手の出待ち
	選手・スタッフへの直接のプレゼント
	応援幕等の会場内への持ち込みと掲示



## 4. 入場者制限付き開催について

### (3) お客様への注意喚起のお願い

① 「大声を上げて応援する方」等、禁止事項に該当するような応援スタイルで応援をされるお客様がおられる場合は必要に応じて、アナウンスを行うなど注意喚起を行ってください。

### (4) ファン・チームサポーターの入退場時の対応

① お客様の会場入場時及び退場時には、蜜の発生を避けるために席種別の入場及び席種別の退場を行うことを推奨いたします。

## 8 報道関係者・中継制作等の対応

### (1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用ADを配布するチームが責任を持って管理して下さい。

① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。

② Vリーグ機構が指定する健康チェックシート（同等の項目が網羅されている場合は、独自様式を認める）を記入し、来場時に報道関係者受付に提出ください。

③ 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控え下さい。

・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）

・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合

④ 入場時の検温にご協力下さい。体温が37.5度以上ある場合は入場できません。

⑤ アリーナ内では常にマスクを着用し、社会的距離（2m、最低でも1m）をとって下さい。また、指定されたエリアや動線を順守して下さい。

⑥ 手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

### (2) 会場のゾーニングと動線

① 密を避けるため、プレスルームは設けず、アリーナ内の記者席をご案内ください。ただし、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋を設けることを推奨します。

② 項番3の考え方に則り、ゾーン1（競技関連）およびゾーン3（お客様）と分離するよう、これまでに以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

### (3) 取材申請手続き

① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置して下さい。



## 4. 入場者制限付き開催について

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	大会開催日の4日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程をVリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までにVリーグ機構で受け付け、ホームチームへ連携する。
一般報道関係者	大会開催日の4日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請
チーム広報	大会開催日の4日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請

- ② 記者席またはカメラマンエリア内で社会的距離（2m、最低でも1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けて下さい。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、項番2「チケット販売の考え方」を参考に、社会的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

### (4) 大会当日の対応

#### ① 報道関係者受付

- 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の60分前とします。
- 受付時に検温を行い、体温が37.5度以上の場合は会場での取材活動をお断りしてください。
- 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けて下さい。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックして下さい。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ADやビブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫して下さい。
- 記者席の座席位置と、プレスルームの使用ができないことを案内し、受付完了後に速やかに移動いただいでください。

#### ② 記者席

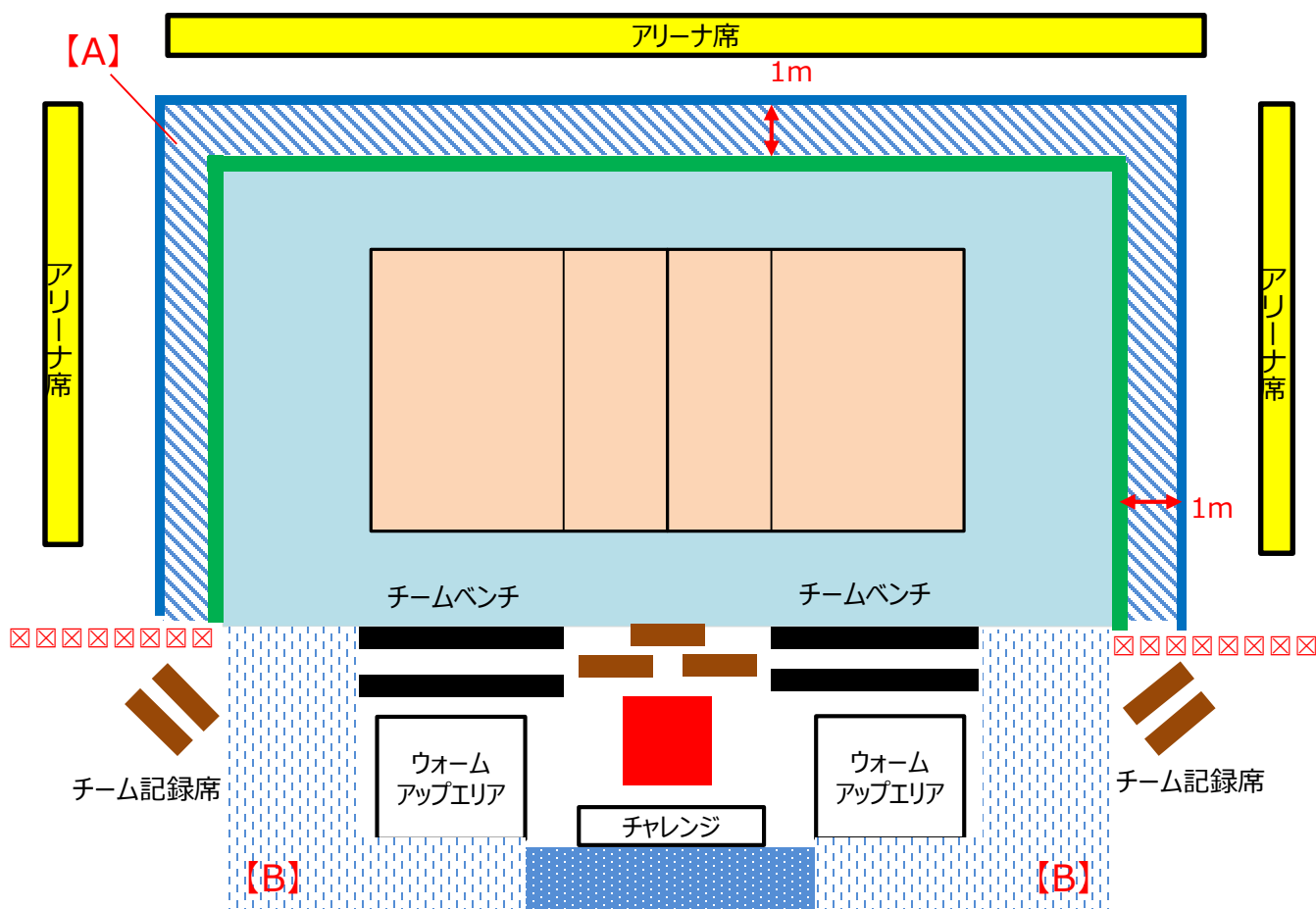
- 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- インタビューリクエスト用紙は所定のBOXへ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫して下さい。WEBフォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

## 4. 入場者制限付き開催について

### ③カメラマンエリア

TVカメラおよびスチールカメラのエリア区画は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ・撮影エリアは、ベンチ裏を除く3辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、社会的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ・予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。
- ・試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その他は禁止して下さい。
- ・中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。



【B】【C】エリア内でも、社会的距離(2m、最低でも1m)を確保する。

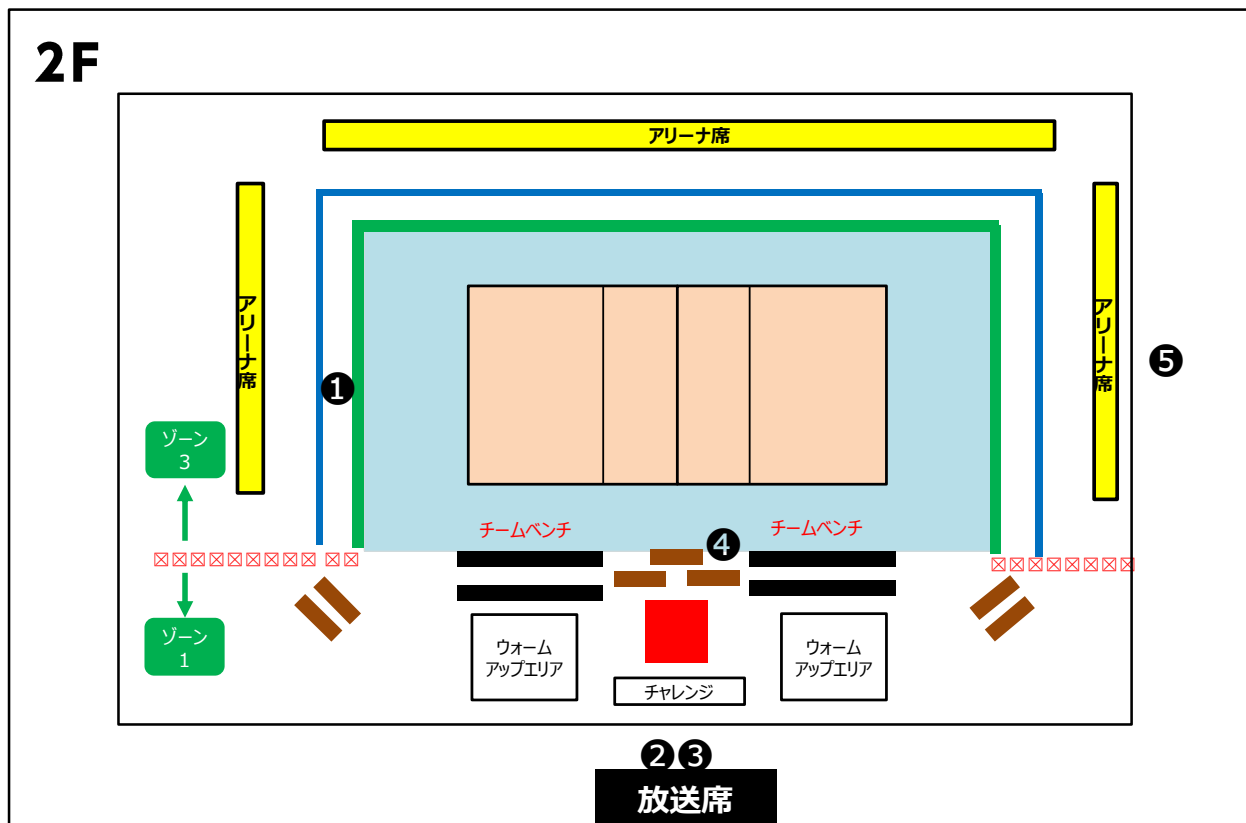
【C】

## 4. 入場者制限付き開催について

### ④中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- オフィシャルブロードキャスティングパートナーおよび放映権を取得したパートナーはVリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、Vリーグ機構へ事前に提出する。Vリーグ機構は直近2週間の体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5 度以上の場合は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください
- 会場内では社会的距離（2m、最低でも1m）を保ち、ゾーン1にアクセスする人数を制限する。
- オフィシャルブロードキャスティングパートナーのカメラ位置を下記のとおりとし変更がある場合は、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡してください。  
その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行って下さい。

### ■ DAZN配信時の原則的なカメラ位置（白抜き丸数字はカメラ位置）



## 4. 入場者制限付き開催について

- 原則、被写体から2m以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーについては、オフィシャルブロード캐스팅パートナーとリーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能としてください。
- 勝利者インタビューは、対象者から2m以上離れて撮影してください。  
インタビューも社会的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビューアのマイクは必ず分け、直前に消毒したうえで選手に渡してください。
- 観戦席やアリーナ外等の密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。

### ⑤ 試合終了後

- 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わずWEB方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意して下さい。
  - ・ 換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも2m、報道関係者同士が社会的距離（2m、最低でも1m）を保てるようにして下さい。  
アリーナ上で行うことを推奨します。
  - ・ 監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、一般観戦者や報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）して下さい。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内して下さい。
  - ・ 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行して下さい。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知して下さい。
  - ・ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用して下さい。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭で参加者に断って下さい。
  - ・ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。  
監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒して下さい。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。
- すべての報道関係者は、試合終了後1時間以内に会場を退出して下さい。
- 報道関係者受付で回収した「健康チェックシート」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、チェック済みの「取材申請リスト（コピーでも可）」と共に、Vリーグ機構へ送付して下さい。

## 4. 入場者制限付き開催について

### 9 試合会場の設営及び撤去

#### (1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する
- ④ マスクを着用する
- ⑤ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

#### (2) 新型コロナウイルス対策責任者

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

#### (3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 作業開始前に体温を測定し、37.5度以上の場合は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。
  - ・感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も健康チェックシートの新型コロナウイルス対策責任者へのご提出をお願いします。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

#### (4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。

- ・感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。

---

## 5. リモートマッチの開催について

# 5. リモートマッチの開催について

## 1 リモートマッチの考え方

リモートマッチを開催せざるを得ない状況は即ち、新型コロナウイルスの感染が拡大し日本全国もしくは開催地域に大きな影響を及ぼしている状況を意味します。開催にあたっては次の事項を念頭に置くことが求められます。

- ① できるだけ来場者の人員を少なくすることで、感染リスクを抑える。
- ② ゾーン分けをしておくことで、感染者が発生した際の影響範囲を限定する。
- ③ 特に選手、チームスタッフと接触する人数を最小化する。
- ④ まずは、予定していた試合を開催し、終了することを最優先する。
- ⑤ 会場に来ることのできないお客様は中継及び配信を通じてのみ試合を観戦される。

## 2 アリーナのゾーニング

### (1) 会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いいたします。

#### ゾーン1：競技関連

- ・ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ・ 選手入場口
- ・ 選手及びJURY、審判員の控室

#### ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ・ 運営スタッフ控室
- ・ プレスルーム
- ・ プレス席

#### ゾーン3：その他エリア

- ・ 客席
- ・ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただき、「ゾーン1」で必要な業務については非感染検査を受診しているスタッフを中心に実施していただくようお願いいたします。

非感染検査を受診していないスタッフが「ゾーン1」で活動する場合はマスク・手袋の着用を必須とし、その他の感染拡大防止対策を実施の上、「ゾーン1」で活動いただくようお願いいたします。

(マスクや手袋の着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります。)



## 5. リモートマッチの開催について

### (2) 来場者の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会運営スタッフ及び招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。

- ① 全員の来場時刻及び退場時刻を記録しておいてください
- ② 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておいてください

### (3) 来場が可能な方

- ① 出場チーム登録選手・登録スタッフ
- ② 出場チーム登録外スタッフ・チーム関係者（1チーム10名以内とする）
- ③ ホームゲーム大会運営スタッフ（必要最低限とする）
- ④ Vリーグ機構役員（必要最低限とする）
- ⑤ Vリーグ機構スポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑥ ホームチームスポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑦ 来賓（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑧ 出場チームサポーター（応援リーダー等1チーム2名まで）
- ⑨ マスコット
- ⑩ チアリーダー
- ⑪ 報道関係者
- ⑫ 中継スタッフ
- ⑬ 上記以外に必要と認められる者

※ 大会運営スタッフについては必要最低限の人員にてお願いします。

※ 出場チーム以外のアナリストが来場することも控えてください。

※ リモートマッチにせざるを得ない状況を理解していただき、来賓等の来場者の来場も可能な限り来場を控えていただくよう理解を求めてください。

## 3 会場運営

(1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構役員、大会関係スタッフ）に求められること

- ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ④ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する
- ⑤ マスクを着用する
- ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

## 5. リモートマッチの開催について

### (2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

- ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。

### (3) アリーナの衛生管理

- ① 使用する全ての諸室に消毒液を設置してください。
- ② トイレには、手をふくための使い捨てペーパータオルを用意してください。また、手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意してください。
- ③ チーム到着前に、チームが使用を予定する全ての箇所を消毒してください。
- ④ アリーナ内でVリーグ関係者で占有できないエリア（Vリーグ関係以外の方の往来がある箇所）については、施設管理者と共同の上、小まめに消毒を行っていただくようお願いします。
- ⑤ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間にはこまめにドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いします。

### (4) アリーナへの入退場の管理（大会役員・関係者・プレスほか）

- ① 入場時に体温を測定し、37.5度以上の場合入場をお断りしてください。
  - ※ Vリーグ機構よりサーモメーターは会場演出ツールとともに持ち回ります（1会場3~4台を予定）
  - ※ 検温の方法はファン・観戦者への対応と同じです。
- ② 来場者名簿を利用して、来場時刻と退場時刻を管理してください。
- ③ 全ての入口に消毒液を設置してください。

### (5) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催するVリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用することと、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 飛沫などが飛ばないようにマスクの着用を必須としてください。

### (6) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。（設置にあたってはソーシャルディスタンスに配慮してください）

### (7) Vリーグ機構会場持ち込み演出ツールについて

- ① Vリーグ機構持ち込みの演出ツールについては、複数会場を持ち回り使用する物品となります。については、使用前と使用後に必ず消毒を行ってください。
- ② 2020-21シーズンは、従来、Vリーグ機構が持ち回りを行っていた、下記の物品の持ち回りを中止させていただきます。

## 5. リモートマッチの開催について

- a) Vリーグロゴ入り装飾用横断幕（片面/両面）
- b) Vリーグロゴ入りのぼり
- c) 投げ込み用マスコットボール
- ※ 装飾用横断幕の持ち込み中止は持ち回りによる感染リスクに配慮したものです。しかし、横断幕の持ち回りを中止したことにより、会場の「見た目」が殺風景になってしまうことは避けたいと考えております。そこで、貸与を希望するチームには、横断幕とのぼりの貸出をさせていただきます。貸出中はチームの責任下で管理と使用時の消毒をお願いします。貸出を希望するチームは、Vリーグ機構事務局までご相談いただきますよう、宜しくお願い致します。
- d) 大型LEDビジョン（V1のみ）
- ※ V1チームは手めくり得点版を2基ご準備いただきますようお願いいたします。
- e) タラフレックス・カラーコート の敷設（V1のみ）

### （8）応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）の責任管理下でチームが持ち込み、掲示を行う幕・旗のみ掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカルスポンサーのバナーを掲示することも可）。掲示の際には感染拡大防止の観点から消毒を行うことと、一般のお客様に旗・幕に触れないよう啓発をお願いします。

また、一般のファンの方が会場に旗や幕を持ち込んで、掲示・掲出を行うことは禁止と致します。

### （9）イベントについて

- ① イベントを開催する場合はソーシャルディスタンスに十分配慮してください。
- ② イベント実施において、飛沫拡散を防止するために演者やお客様の発声を誘発するようなイベントを一切禁止致します。
- ③ チアリーダーの応援について
  - ・ チアリーダーのフロア演技はフロア上に選手やスタッフがいない状態で、声を発しないで行うことを前提に実施することが許容されます。
  - ・ チアリーダーの客席及びスタンドでの応援は来場者から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。
- ④ マスコットの来場及び起用について
  - ・ マスコットのフロアでのパフォーマンスはフロア上に選手やスタッフがいない状態で、前提に実施することが許容されます。
  - ・ マスコットの客席及びスタンドでの応援は来場者から離れた位置で、発声を誘発しない範囲で実施することは許容されます。

### （10）選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン2（大会運営スタッフ&プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン3（お客様エリア）への立ち入りは一切行わないでください。

## 5. リモートマッチの開催について

- ② お客様に対しては感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして幅3メートル以上の動線を作りお客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、ソーシャルディスタンスを確保してください。

### 4 チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

#### （1）アリーナへの移動

##### ① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ・ マスクを着用する
- ・ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ・ 車内の換気に留意する。1時間に複数回の換気を行う

##### ② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車での移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

#### （2）試合当日の体温測定

##### ① チーム関係者、派遣役員ともに試合当日の体温測定は必ず実施してください。

##### ② 37.5度以上の発熱があった場合は、次の通りに処置してください。

- ・ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
- ・ ホームチームの対策責任者及びJURYに報告する
- ・ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健士に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
- ・ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。

#### （3）チーム及び派遣役員全員に求められること

##### ① 大会の少なくとも2週間前から健康状態を確認してください。

##### ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。

- ・ 体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
- ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合

##### ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください

##### ④ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する

##### ⑤ マスクを着用する

##### ⑥ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

## 5. リモートマッチの開催について

### (4) 更衣室

- ① 更衣室もソーシャルディスタンスを確保してください。  
・更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

### (5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手袋・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具も必ず消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合も同様の対応をとってください。

## 5 競技について

### (1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

#### 【原則事項】

競技エリアのレイアウトは下図を原則とします。但し、会場の広さや要件によって下記のレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーン区分の考え方は遵守してください。

- ① チームベンチはソーシャルディスタンスが確保できるよう、1席分を空けて座ってください。
- ② ベンチは2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ③ ウォームアップエリアについてはベンチ後方に設置し、ソーシャルディスタンス確保の観点から、4m×4mの広さを確保してください。（正方形での確保ができなければ16㎡以上の確保をお願いします）
- ④ 主審側及び両側エンドにアリーナ席を設置することは可としますが、カメラマンエリアから2m以上離れた上で設置していただくようお願いします。
- ⑤ ゾーニング確保の観点からチャレンジテーブルはJURYテーブル後方に配置する。
- ⑥ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。但し、監督が立ち上がってコート内の選手に指示を送る場合はマスクを外してよい。
- ⑦ ベンチ内、ウォームアップエリア内では不要な会話・接触を避けてください。

#### 【推奨事項】

- ① 各エリアの拡大とチームとゾーニングの確保とチーム関係者を感染拡大から守るとの観点から、副審側1階アリーナ席（ベンチ裏）の販売は行わないことを推奨します。  
販売する場合は、下図ゾーン1の後方に設置することとし、競技エリア（ゾーン1）お客様エリア（ゾーン3）のゾーン及び動線の区分ができていることを条件とします。

（会場図面はP.36「4. 入場者制限付き開催について」を参照）



## 5. リモートマッチの開催について

### (2) 競技用具及び競技備品の消毒

- ① 競技用具及び会場備品については、JVAが定める『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』に基づいて小まめな消毒を行ってください。

JVA『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/79b7bbac51a149d1679022abc7929d49.pdf>

- ② Vリーグ機構持ち込み物品については、複数会場で持ち回り使用する物品となります。ついては、Vリーグ機構持ち込み物品は使用前と使用後に必ず消毒を行ってください。

### (3) 競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2020-21V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなくなった場合は、下記の対応を行い試合開催を優先する。

#### ① 急遽、JURYが不在となった場合

JURY不在で試合を行う。但し、JURY不在の場合はチームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。

#### ② 急遽、Vレフェリーが不在となった場合

当該JURYがVリーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。

#### ③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1チャレンジ採用時のみ）

当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

#### ④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合

ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

#### ⑤ 急遽、JVIMS担当者が不在となった場合

##### a) 3名しか配置できないケース

ブロック判定補助員の配置を削減する。

##### b) 2名しか配置できないケース

ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。

##### c) 1名しか配置できないケース

判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）



## 5. リモートマッチの開催について

### d) 1人も配置できないケース

会場でのJVIMS対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。  
(ライブスコアは実施しない)

### (4) クイックモッパーについて

感染拡大防止と人員削減の観点から、今シーズンは、クイックモッパーは配置しません。フロアモッピングについては、コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。

ただし、試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウエットスポットが発生した場合には、主・副審の判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。

また、タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用してのワイピングを認めます。

### (5) サブコートでの練習

- ① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 換気に留意してください

### (6) メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスク着用を必須としません。

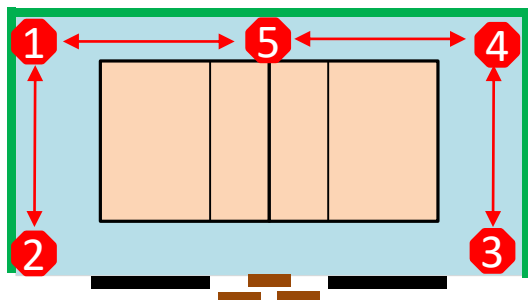
### (7) ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置してください。各開催地の状況や人員削減の観点から6名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

- ① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。(ボールの受け渡し :  $\longleftrightarrow$ )

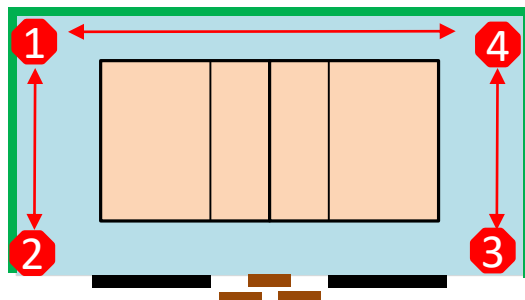
### a) 5名配置できる場合

- 1) 5ボールで運用してください



### b) 4名配置できる場合

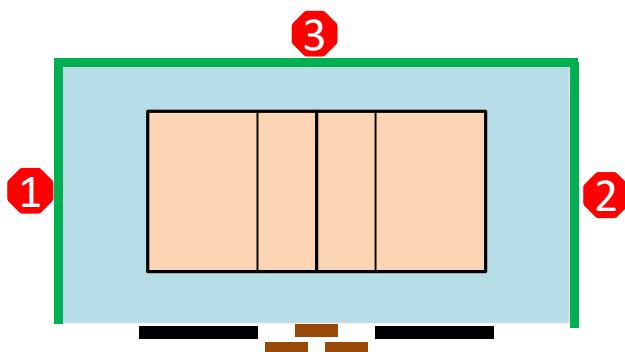
- 1) 5ボールもしくは3ボールで運用してください。
- 2) ①⇔④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



## 5. リモートマッチの開催について

c) 3名（もしくは2名）配置できる場合（2名の場合は、①と②の場所に配置）

- 1) 3ボールで運用してください
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求められることができる



d) ボールリトリバーを1名配置できる場合もしくは不在の場合

- 1) ワンボールで運用してください
- 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください
- 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してください
- 4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。

- ② 試合中、ボールリトリバー（及びボールを扱う可能性のある役員）は、必ず手袋を着用してください。マスクの着用は必須としませんが可能な限りマスク着用を推奨します。
- ③ ボールを拭く際には消毒液付きのタオル等で拭くようにしてください。

（8）選手入場から試合開始まで

- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2020-21V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。
  - ・ 入場時はソーシャルディスタンスを十分配慮する
  - ・ キッズエスコートは行わない
  - ・ 始球式は原則、実施しない
  - ・ アリーナ上で円陣を組むことは行わない
  - ・ チームの集合写真の撮影は認められるが、選手間、カメラマン間のソーシャルディスタンスには十分配慮すること
- ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください。
  - ・ 選手同士の握手は行わない
  - ・ 選手とレフェリーの握手は行わない
  - ・ コイントスは主副審立会にのりもと両チームのキャプテンにより実施する。但し、ソーシャルディスタンスを保つことを心掛ける

## 5. リモートマッチの開催について

### (9) 競技中の注意事項

- ① 試合中、選手はJVAが定める『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』の「6)競技中の注意事項」に記載されている内容を遵守してください。
- ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくれも唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
- ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等をクーラーボックス等に戻すことは絶対に避けてください。
- ④ 得点時のパフォーマンスは可能な限りソーシャルディスタンスを保って実施してください。

### (10) タイムアウト、TTO、セット間の対応

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線及びモッパールの動線が混雑しないよう、予め配慮してください
- ② コートの補修は通常通り行ってください。
- ③ コート上でのチアパフォーマンスについてはフロア上に選手やスタッフがいない状態で、声を発しないで行うことを前提に実施することが許容されます。
- ④ セット間にボールの消毒を行ってください。

### (11) 試合終了時のセレモニー

- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
- ② 中継を通じて観戦しているファンの皆さまへ挨拶する場合は、ソーシャルディスタンスを確保することに留意してください。また、選手間でのハイタッチや、抱擁、握手は行わないでください。
- ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。

### (12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

## 6 アリーナ外でのファン・サポーターの集結を防ぐ

### (1) ファン・サポーターへの事前案内

リモートマッチ開催にあたっては、次の事項をファン及びチームサポーターの皆さまに事前案内してください。

- アリーナまたはその周辺に来場しないでください
- 極力、家に留まっておいただきモバイル機器やテレビを見て応援してください
- 友人と一緒にテレビ観戦する場合も、対面にならず、会話を減らし、マスクをしてソーシャルディスタンスを確保するよう心がけてください

# 5. リモートマッチの開催について

## 7 報道関係者・中継制作等の対応

### (1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用ADを配布するチームが責任を持って管理して下さい。

- ① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。
- ① Vリーグ機構が指定する健康チェックシート（同等の項目が網羅されている場合は、独自様式を認める）を記入し、来場時に報道関係者受付に提出ください。
- ② 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控え下さい。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ③ 入場時の検温にご協力下さい。体温が37.5度以上ある場合は入場できません。
- ④ アリーナ内では常にマスクを着用し、社会的距離（2m、最低でも1m）をとって下さい。また、指定されたエリアや動線を順守して下さい。
- ⑤ 手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

### (2) 会場のゾーニングと動線

- ① 密を避けるため、プレスルームは設けず、アリーナ内の記者席をご案内ください。ただし、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋を設けることを推奨します。
- ② 項番3の考え方に則り、ゾーン1（競技関連）およびゾーン3（お客様）と分離するよう、これまで以上に細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

### (3) 取材申請手続き

- ① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置して下さい。

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	大会開催日の4日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程をVリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までにVリーグ機構で受け付け、ホームチームへ連携する。
一般報道関係者	大会開催日の4日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請
チーム広報	大会開催日の4日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請

## 5. リモートマッチの開催について

- ②記者席またはカメラマンエリア内で社会的距離（2m、最低でも1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けて下さい。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、項番2「チケット販売の考え方」を参考に、社会的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

### (4) 大会当日の対応

#### ①報道関係者受付

- 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の60分前とします。
- 受付時に検温を行い、体温が37.5度以上の場合は会場での取材活動をお断りしてください。
- 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けて下さい。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックして下さい。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ADやピブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫して下さい。
- 記者席の座席位置と、プレスルームの使用ができないことを案内し、受付完了後に速やかに移動いただいでください。

#### ②記者席

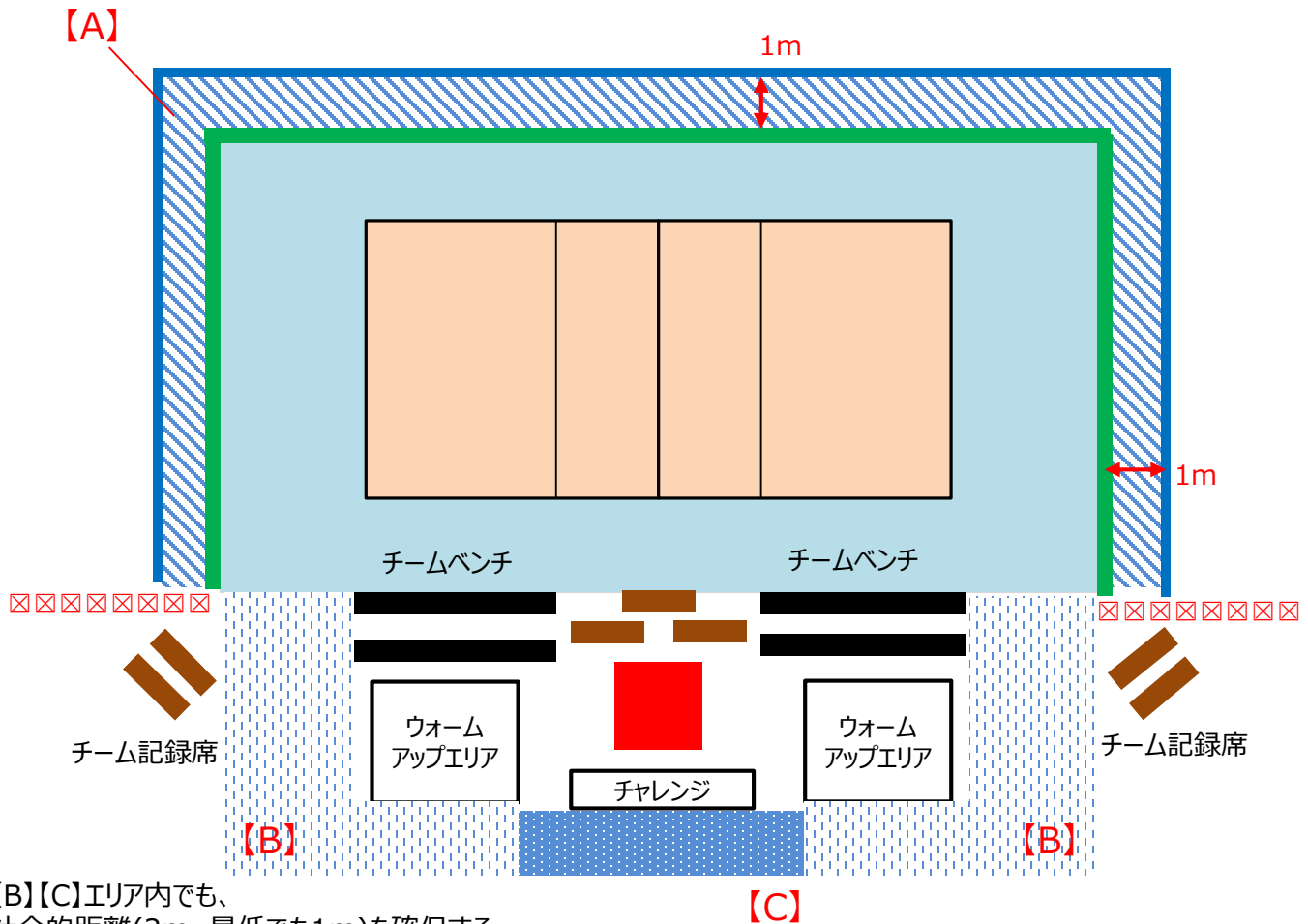
- 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- インタビューリクエスト用紙は所定のBOXへ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫して下さい。WEBフォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

#### ③カメラマンエリア

TVカメラおよびスチールカメラのエリア区画は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ・撮影エリアは、ベンチ裏を除く3辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、社会的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ・予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。
- ・試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その他は禁止して下さい。
- ・中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。

## 5. リモートマッチの開催について



[B][C]エリア内でも、社会的距離(2m、最低でも1m)を確保する。

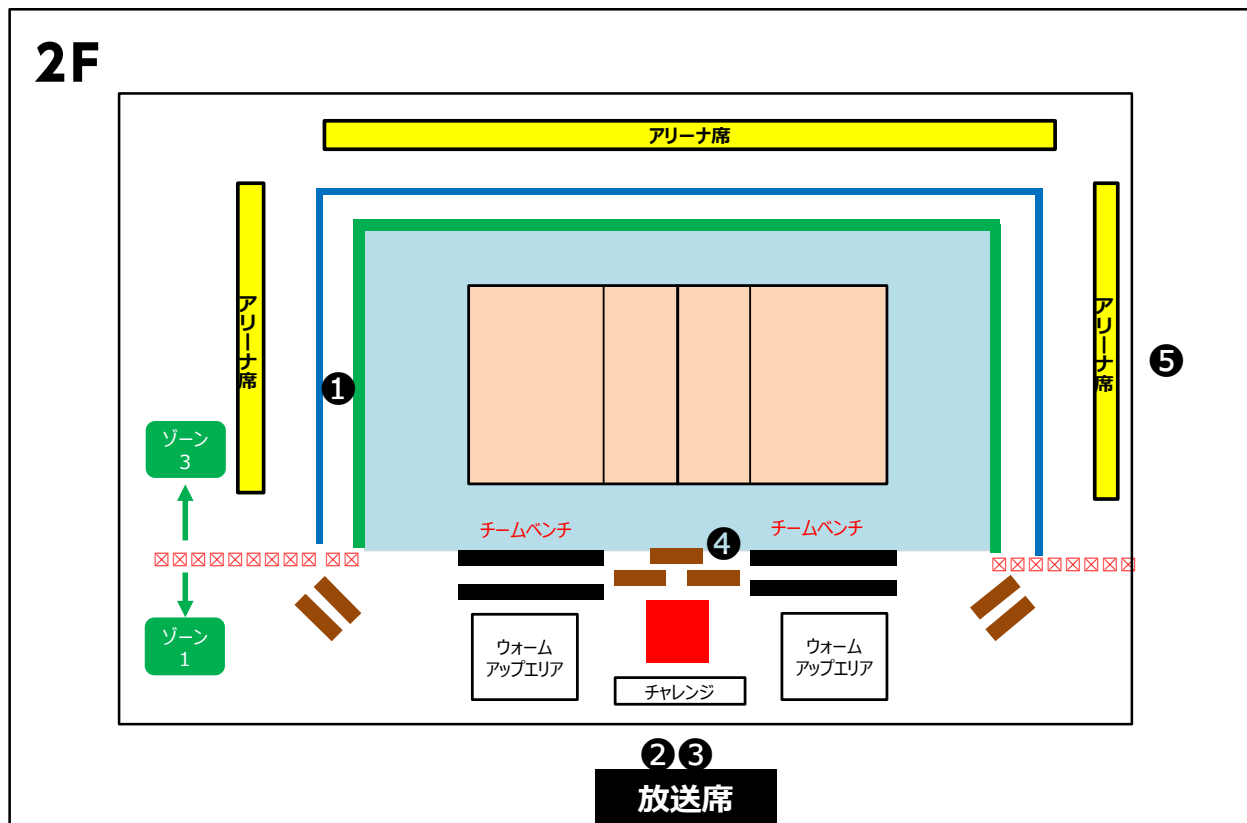
### ④ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- オフィシャルブロードキャスティングパートナーおよび放映権を取得したパートナーはVリーグ機構が指定する健康チェックシートを記入し、Vリーグ機構へ事前に提出する。Vリーグ機構は直近2週間の体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5 度以上の場合は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒をこまめに行ってください
- 会場内では社会的距離（2m、最低でも1m）を保ち、ゾーン1にアクセスする人数を制限する。
- オフィシャルブロードキャスティングパートナーのカメラ位置を下記のとおりとし変更がある場合は、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡してください。  
その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行って下さい。



# 5. リモートマッチの開催について

## ■ DAZN配信時の原則的なカメラ位置（白抜き丸数字はカメラ位置）



- 原則、被写体から2m以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーについては、オフィシャルブロードキャスティングパートナーとリーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能としてください。
- 勝利者インタビューは、対象者から2m以上離れて撮影してください。  
インタビューも社会的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビュー者のマイクは必ず分け、直前に消毒したうえで選手に渡してください。
- ⑤試合終了後
  - 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わずWEB方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意して下さい。
    - ・換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも2m、報道関係者同士が社会的距離（2m、最低でも1m）を保てるようにして下さい。アリーナ上で行うことを推奨します。
    - ・監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）して下さい。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内して下さい。
  - 密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。

## 5. . リモートマッチの開催について

- 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行して下さい。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知して下さい。
  - ・ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用して下さい。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭で参加者に断って下さい。
  - ・ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒して下さい。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。
- すべての報道関係者は、試合終了後1時間以内に会場を退出いただいて下さい。
- 報道関係者受付で回収した「健康チェックシート」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、チェック済みの「取材申請リスト（コピーでも可）」と共に、Vリーグ機構へ送付して下さい。

# 5. リモートマッチの開催について

## 8 試合会場の設営及び撤去

### (1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常など）
  - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ ソーシャルディスタンス（2m、最低でも1m）を確保する
- ④ マスクを着用する
- ⑤ 手洗い・手指消毒をこまめに行う。

### (2) 新型コロナウイルス対策責任者

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

### (3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 作業開始前に体温を測定し、37.5度以上の場合は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。
  - ・感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も健康チェックシートの新型コロナウイルス対策責任者へのご提出をお願いします。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

### (4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理してください。

- ・感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。

## 6. 別紙資料・参考資料



# 【別紙】大会参加者向け健康チェックシート（自己管理用）

## 健康チェックシート（自己管理用）

公益財団法人 日本バレーボール協会

- 大会に参加を希望している人は自身の体調チェックを毎日実施してください
- 毎朝、体温測定と症状（のどの痛み・咳・倦怠感・頭痛・食欲低下など）のチェックをお願いします。
- もし気になる症状が現れたときには、速やかに最寄りの病院、保健所・帰国者・接触者電話相談センターへご連絡ください。
- 大会・講習会等に参加する場合、主催者の求めに応じて、この体調チェックシートを基に「提出用シート」に記載をし提出ください。

平熱				て			味覚・嗅覚異常			行動記録
NO	月日	曜日	起床時体温	体調確認（のどの痛み・咳・倦怠感・頭痛・食欲低下等）			味覚・嗅覚異常			
				なし	あり	（ありの場合は具体的に）	なし	あり	（ありの場合は具体的に）	
例	6月1日	月	36.5		○	のどの痛み	○			感染者との濃厚接触 海外・県外等への移動 等
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
平均（自動計算⇒）				平熱の参考としてください						





# 更新履歴

- 第2稿（2020年8月17日現在=運営会議提出資料）からの更新事項

## 【第3稿（2020.08.25現在）】

- ・ 調整中としていた「急遽、JVIMS担当者が不在となった場合」の対応（P.38/P.39/P.56/P.57）を追記
- ・ 調整中としていた「DAZN配信時の原則的なカメラ位置」の対応（P.46/P.63）を追記

## 【第4稿（2020.08.28現在）】

- ・ 運営会議でのご指摘を受け、「連携医療機関」に関わる記述を修正

## 【第5稿（2020.09.01現在）】

- ・ 「試合観戦者から発生した際の方針」を加筆（P.23）

- 公益社団法人日本プロサッカーリーグ  
『Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン』
- ゴルフ関連 5 団体新型コロナウイルス対策会議  
『日本国内プロゴルフトーナメントにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン』
- 公益財団法人日本バレーボール協会  
『バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン』
- NPB新型コロナウイルス感染予防ガイドライン